

令和7年度

■ 年 報 ■

第33号

四日市市立博物館

年報発刊にあたって

令和7年度は、令和6年度に実施した改修工事により館内環境が整備され、さらに博物館と併設されている四日市市民公園が令和7年2月にリニューアルオープンしたことから、これまで博物館に来館されたことのない方にも足を運んでいただき、来館者層の幅を広げられるよう努めました。そのため、本年の各事業はなるべく親しみやすいテーマを重点的に取りあげ活動してまいりました。

展覧会は、「かがくいひろしの世界展」が子育て世代を中心に人気を博しました。例年小学生の学習支援展示として実施している昭和のくらしを扱った展示では、市民に馴染み深い四日市祭りを取りあげました。プラネタリウムは、季節ごとに投映するファミリー番組が好評であり、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただくことができました。また、天文係によるX（旧 Twitter）アカウントの新規開設をはじめ、各種SNSを積極的に活用し、市外の方や若年層に向けて情報発信を行いました。その結果、市内外から14万人を超える方々にご観覧いただき、平成5年の開館以来歴代2番目となる来館者数を記録しました。

博物館・プラネタリウム、四日市公害と環境未来館を総称した「そらんぼ四日市」では、これからも多くの方に学び、考え、楽しんでもらえるよう諸活動を一層推進していくとともに、何度も訪れたくなる施設づくりや記憶に残る取り組みを継続してまいります。

最後になりましたが、当館の運営及び諸活動にあたり、ご指導やご協力をいただきました市民の皆様やボランティアの皆様をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。

令和8年7月

※記載にあたっては、個人・団体の敬称は省略させていただきました。ご了承ください。

目 次

年報発刊にあたって	1
目 次	2
I 事業概要	
1 博物館事業	
1 常設展	3
2 企画・特別展等開催事業	3
3 教育普及事業	6
4 資料収集保存事業	9
5 調査研究事業	12
2 プラネタリウム事業	
1 GINGA PORT 401	22
2 プラネタリウム投映事業	22
3 天文教育普及事業	28
3 ミュージアムショップ	30
II 管理・運営	
1 組織	31
2 決算	31
3 博物館協議会	32
4 施設の利用	33
5 関連出版物の発行	33
6 利用状況	34
7 関係法規	37
III 施設概要	43
IV 利用案内	46
四日市市楠歴史民俗資料館	
I 事業概要	
1 これまでの経緯	47
2 事業	48
3 施設の利用	48
4 利用状況	49
5 関係法規	51
II 施設概要	54

I 事業概要

1 博物館事業

1 常設展

「時空街道」

平成 27 年 3 月 21 日にリニューアルオープンした常設展「時空街道」の基本テーマは、「四日市のまちのあゆみと、人々のくらしの変化」。資料を展示ケースに並べる従来の展示とは大きく異なり、各時代を特徴づける原寸大の建物を再現し、観覧者が展示空間の中に立つことで歴史を体感することを目的としている。常設展示室 2 階に新たに併設された四日市公害と環境未来館との展示の連続性を保つため、博物館では原始・古代、中世、近世の時代を、四日市公害と環境未来館では近代・現代の時代を扱い、両館を一連の流れの中で観覧することにより、四日市の古代から現代までのあゆみを概観できるようにしている。



また、映像や照明、季節感のある展示品により、一日の時間や季節の移り変わりを表現し、没入感を高めている。併せて、博物館ボランティアとの対話や、解説シートによる知識の補足により、観覧者の知ることや学ぶことへの意欲を高める工夫をしている。

「丹羽文雄記念室」

文化勲章受章作家で名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくために、平成 18 年 12 月 9 日に丹羽文雄記念室を開館し、同時に常設展示を無料とした。

令和 7 年度常設展示

開館日数:281 日

観覧者数:52,342 人 観覧料:無料

2 企画・特別展等開催事業

本年度は、特別展 2 本、企画展 1 本を開催した。今年度からの新たな取り組みとして、すべての観覧者が当日に限り再入場ができるよう、観覧者の手元に半券が残らない場合には、半券に代わる再入場券を渡し、観覧者の利便性を高める取り組みを始めた。

また、広報や情報発信について、有料広告については、昨年度まで実施していた新聞広告を見直すとともに、市内はもとより、市外にも効果的な広報を行うため、Instagram 広告を導入した。アンケートによると Instagram 広告は、市外からの来館者が来館するきっかけとなっており、市外への情報発信の有力な方法と考えられる。

(1) 特別展「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展」

[主催] 四日市市立博物館

[後援] 中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、三重エフエム放送、(株)シー・ティー・ワイ CTY-FM、NHK津放送局

[特別協力] 加岳井久美子、渡辺直子、加岳井武志、ブロンズ新社、沖本敦子、山崎敬三

[協力] 講談社、PHP 研究所、佼成出版社、教育画劇、偕成社、玄光社、白泉社、特種東海製紙、絵本ナビ、人形劇団プーク、ロバの音楽座

[監修] 水島尚喜（聖心女子大学教授）

[クリエイティブデザイン] 柿木原政広（10 inc.）

[映像] べんぴねこ



〔企画協力〕 堀川佳子、文化企画

■会 期：令和7年4月12日（土）～6月1日（日） 44日間

■観覧者数：24,520人

■観 覧 料：一般1,000円、高・大生600円、中学生以下無料

■関連行事

○記念講演会「人間『加岳井広』を語る」

日 時：4月12日（土）14:00～15:00

講 師：水島尚喜（聖心女子大学現代教養学部教授、絵本学会会長）

参加者数：47人

○ワークショップ

日 時：4月29日（火・祝）、5月24日（土）各日13:00～15:00

講 師：当館学芸員

参加者数：4月29日（火・祝）：84人、5月24日（土）：194人

○絵本の読み聞かせ会

日 時：5月11日（日）14:00～14:30

講 師：中部読み聞かせサークル

参加者数：20人

■担当者所感（企画普及係 川端蒼海）

本展は、子どもたちやその家族を中心に子育て世代に非常に人気のある、かがくいひろし氏の絵本原画やその制作の背景にあった作者の人生を、教員時代の教材や映像などを通じて、作者が絵本制作に込めた想いを紹介する展覧会だった。

本展の観覧者数は、当館で開催した展覧会のうち、平成7年（1995）「ウルトラヒーロー30年の歴史展」の36,892人に次ぐ、歴代2位の数であった。想定観覧者数を大きく上回ったため、チケットやチラシが不足し、増刷する事態となった。今後は適切に観覧者数を予想し、印刷物の発注枚数に反映していきたい。また、展覧会関係費用についても歳入額が歳出額を上回ることになった。歳入額が上回った企画展は、平成20年（2008）から翌年にかけて開催した「歓喜する岡本太郎」以来である。

関連行事では、かがくい氏をよく知る水島尚喜氏（聖心女子大学現代教養学部教授、絵本学会会長）による講演会、当日気軽に参加できるワークショップ（へび人形を作ろう）2回、市立図書館の読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ会を実施した。どの行事も定員を超える申し込みと参加があった。特にワークショップでは、想像以上に参加希望者が多く、会場内が混雑したため、自宅でも工作ができるよう、急遽、材料キットを配布したり、3階ロビーでも作業できるようスペースを拡張したりすることで対応した。

（2）特別展「手塚治虫展」

〔主 催〕 四日市市立博物館

〔後 援〕 中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、三重エフエム放送、（株）シー・ディー・ワイ CTY-FM、NHK津放送局

〔企画製作〕 株式会社手塚プロダクション

〔製作協力〕 東映株式会社

〔助 成〕 公益財団法人 岡田文化財団

■会 期：9月20日（土）～11月24日（月・振） 57日間

■観覧者数：8,453人

■観 覧 料：一般1,000円、高・大生600円、中学生以下無料

■関連行事

○ギャラリートーク

日 時：9月20日（土）、11月9日（日） 各日14:00～（30分程度）

講 師：篠 昌志（企画普及係学芸員）

参加者数：9月20日（土）：45人、11月9日（日）：36人

○上映会「ブラック・ジャック Karte:61 二人のピノコ」

「ブラック・ジャック カルテX しずむ女」

日 時：10月11日（土） 10:00～11:30、14:00～15:30



参加者数：午前：124 人、午後：121 人

■担当者所感(企画普及係 篠昌志)

「マンガの神様」と称された手塚治虫の生涯と業績を、手塚が生み出したキャラクターや作品などから紹介する展覧会であった。本展は巡回展であり、大部分の内容は他会場と同様であったが、四日市市が公害を経験していることを踏まえ、公害をテーマとした作品（「ブラック・ジャック」より「ふたりのピノコ」）の一部のパネル展示も行うことで当館の独自性を出すことができたと思う。その結果、アンケートにおいて「なぜ四日市市立博物館で手塚治虫展なのかという理由がわかった」という声を頂いた。展覧会を開催する際、なぜ当館で行う必要があるのかということを常に考える必要があると改めて感じた。

本展の観覧者数は8,453人で、当初の目標人数である8,550人をわずかに下回る結果であった。観覧者の世代は、アンケート結果によると手塚治虫に馴染みのある50代、60代が最も多く、次いで70代、40代が多い結果となった。16～19歳が最も低い結果となり、手塚治虫に馴染みのない世代の来館が伸び悩んだことが来館者数に影響したと考えられる。若年層については、教科書に手塚治虫が載っていることを理由とした小学校の団体見学が1件あったことから、今後は展覧会の学校現場における活用を意識していきたい。

（3）企画展「昭和の暮らし 昭和のまつり」

〔主催〕 四日市市立博物館

〔後援〕 中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、三重エフエム放送、(株)シー・ティー・ワイ C T Y - F M、NHK津放送局

〔協力〕 南納屋町鯨船山車明神丸保存会、鯨船勢州組保存会、中納屋町大入道保存会、南浜田舞獅子保存会

■会 期：令和8年1月2日(金)～3月1日(日) 51日間

■観覧者数：6,024人

■観 覧 料：一般600円、高・大生500円、中学生以下無料

■関連行事

○昔の道具をつかってみよう

日 時：1月25日(日) 10:00～12:00

参加者数：24人

○ガリ版印刷に挑戦

日 時：2月1日(日) 10:00～12:00

参加者数：13人

○昭和のあそび

日 時：2月21日(土) 10:00～12:00

参加者数：52人

■担当者所感(企画普及係 阿部由佳)

本展では2つあるテーマのうち、昭和初期と昭和30年代の暮らしの道具を中心に対比した「昭和の暮らし」と、四日市において多くの人々に親しまれた「四日市祭」の戦前と戦後の練り物や山車を対比した「昭和のまつり」を紹介した。展示品については、後掲表のとおりである。

観覧者数は目標人数7,650人のところ6,024人の来館であった。アンケート結果による内訳では10歳未満の来館が最多となっており、次いで10～15歳、60代が多いという結果になった。会期当初から半ばにかけて観覧者数が著しく減少したため、広報活動の一環として報道各社へ働きかけを行ったが、本展に関する広報機会を十分に確保することが出来なかった。そのため、SNSでの発信を強化するとともに、展覧会行事(ワークショップ)や学校見学の来館者へ直接働きかけ、観覧者の確保を図った。その結果、会期後半に向けて観覧者が増加し、最終日には会期中最大の観覧者数を記録したが、目標数には及ばなかった。

展覧会行事(ワークショップ)においては、「昔の道具をつかってみよう」、「ガリ版印刷に挑戦」、「昭和のあそび」の3つを行った。内、「昔の道具をつかってみよう」、「ガリ版印刷に挑戦」の2つの行事でアンケートを実施したところ、「洗濯板で洗うことが思っていたやり方じゃなくて、洗濯物を持ちながらやることを知りました。」や「インクが滲んでうまく出来なかったが、昔は毎日のように使っていると思うと頭が上がらない。」など、実際に体験することでしか知り得ない情報を得ているように感じた。また、「このイベントの後(または前)の予定」に関する質問で、「展示を見る(または見た)」と回答した人が半数以上となっており、展覧会行事をきっかけに本展に興味関心を持つ機会になったと考



える。今後はこの関心をさらに広げ、より深く資料について探求できるよう、充実度の高い機会を来館者へ提供することに努めたい。

- (4) 共催展「第 67 回北勢・鈴亀地区高等学校美術展」
 [主 催] 三重県高等学校文化連盟、三重県教育委員会
 [共 催] 四日市市立博物館
 ■会 期: 令和 8 年 3 月 17 日(火)～3 月 22 日(日) 6 日間
 ■観覧者数: 840 人
 ■観 覧 料: 無料

(5) 学習支援展示

会 期	展 示 名	場 所	観 覧 者 数
6 月 10 日(火) ～8 月 31 日(日)	四日市空襲と戦時下の暮らし	白里亭 ・ 3F ロビー	計 17,289 人
令和 7 年度 合計			17,289 人

展示品については、後掲表のとおりである。

(6) 特集展示

常設展「時空街道」に関わる資料や博物館のコレクションをテーマ別に紹介する展示

会 期	展 示 名	場 所	観 覧 者 数
3 月 1 日(土) ～5 月 6 日(火・振)	四日市の生んだ「日本のライ ト兄弟」玉井兄弟展	白里亭 ・ 3F ロビー	9,522 人 (7 年度分) 5,047 人
5 月 13 日(火) ～6 月 1 日(日)	館蔵品展Ⅰ 新収蔵品展	白里亭	3,722 人
9 月 9 日(火) ～10 月 26 日(日)	館蔵品展Ⅱ 没後 20 年丹羽文雄と手紙	白里亭	7,251 人
11 月 1 日(土) ～11 月 30 日(日)	館蔵品展Ⅲ 赤羽刀	白里亭	5,051 人
12 月 9 日(火) ～令和 8 年 3 月 1 日(日)	館蔵品展Ⅳ 大正・昭和のモダンデザイン	白里亭	9,797 人
令和 8 年 3 月 10 日(火) ～5 月 6 日(水・振)	館蔵品展Ⅴ 萬古焼 一沼波弄山と茶一	白里亭	2,937 人 (7 年度分) 2,664 人
令和 7 年度 合計			33,532 人

展示品については、後掲表のとおりである。

3 教育普及事業

(1) 時空街道ツアー e x

体感型常設展「時空街道」を、博物館ボランティアが案内人となって案内。

月 日	参加者数	月 日	参加者数
5 月 4 日(日)	23 人	8 月 24 日(日)	9 人
9 月 14 日(日)	臨時休館により中止	11 月 24 日(月・祝)	14 人
12 月 14 日(日)	10 人	令和 8 年 1 月 4 日(日)	5 人
合計			61 人

(2) 館長講座「日本美術あれこれ」

日本美術の特徴・秘密を3つのテーマを立てて紹介。

※要約筆記・手話通訳をつけて実施。

月日	内容	参加者数
11月22日(土)	日本美術の成り立ち	17人
令和8年1月10日(土)	絵画と文学	24人
3月28日(土)	身体観と人体表現	27人
合計		68人

(3) 学芸員講座

当館学芸員がそれぞれの専門について、分かりやすく、楽しく語る講座。

※要約筆記・手話通訳をつけて実施。

月日	内容	参加者数
7月27日(日)	人とクジラの交遊録-鯨船行事から見た文化鯨類学?入門-	41人
12月20日(土)	小林かいちのデザイン-絵封筒コレクションより-	12人
令和8年3月14日(土)	壬申の乱と伊勢国	67人
合計		120人

(4) 大人の社会科

博物館に興味を持つ大人(中学生以上)を対象にした講座。学芸員の仕事や伝統文化の体験を行う。

月日	内容	参加者数
5月18日(日)	【国際博物館の日 関連行事】バックヤードツアー	24人
8月9日(土)	ハマグリで作る貝合わせ	11人
12月13日(土)	豆本を作ろう	12人
合計		47人

(5) 丹羽文雄記念室行事

原作上映会や講演会を通じて、丹羽文雄の作品世界を知る。

※要約筆記・手話通訳をつけて実施。

月日	内容	参加者数
4月19日(土)	原作映画上映会「人間模様」	29人
10月19日(日)	丹羽文雄 没後20年特別企画 記念講演会「文豪の素顔を語る-孫が明かす未公開エピソードと丹羽文雄の人生-」 講師：丹羽多聞アンドリウ（プロデューサー、近畿大学客員教授）	53人
合計		82人

(6) 子ども博物館教室

展覧会や博物館に興味をもてるよう、季節にあわせた教室などを行う。対象は小学校中学年～中学生。

月 日	内 容	参加者数
6 月 14 日(土)	四日市空襲を語り継ごう	40 人
7 月 12 日(土)	勾玉を作ろう	36 人
9 月 27 日(土)	オリジナル封筒と便箋を作ろう	6 人
合計		82 人

(7) ベビーカーDAY

幼児や赤ちゃんとおしゃべりしながら、時には泣いてしまっても気にせず展覧会・常設展を観覧してもらうイベント。(人数は展覧会観覧者数)

「かがくいひろしの世界展」ではベビーカーを連れた来館者が多く、「ベビーカーDAY以外の日は、ベビーカーを連れて展示を見に行ってもいけないのか」といった問い合わせも数件あり、普段の日でも来館可能ということの周知について課題が残った。

4 月 20 日(日)	417 人	10 月 19 日(日)	36 人
5 月 18 日(日)	719 人	11 月 16 日(日)	38 人
6 月 15 日(日)	85 人	12 月 21 日(日)	35 人
7 月 20 日(日)	44 人	令和 8 年 1 月 18 日(日)	40 人
8 月 17 日(日)	53 人	2 月 15 日(日)	51 人
9 月 21 日(日)	72 人	3 月 15 日(日)	23 人
合計			1,613 人

(8) 博物館実習(原則として大学 4 年生・大学院生対象)

8 月 19 日(火)～8 月 23 日(土)5 日間(8 大学 9 人)

(9) 中学生の職場体験 1 校 2 人

(10) 教員のための博物館研修

・夏季教員研修 7 月 25 日(金) 7 人

むかしの道具や昭和展の 3DVR 映像を実際に使いながら、小学 3 年生の「昭和の暮らし」の学習に活用できる教材を考える。

・教職 2～3 年次 社会体験研修 7～8 月のうち 2 日間 8 校 9 人

博物館の様々な業務を体験し、教育現場で役立ててもらおう。

(11) 博物館ボランティアの養成と協働

市民が博物館活動に参加する機会を広く提供するために、特別展・企画展及び学習支援展示、ワークショップにおけるボランティア活動の支援を行った。また、常設展示室活用のためのワークシート作成のための打合せをボランティアと協働して行った。

令和 7 年度も、新ボランティアの募集と養成をおこない、令和 8 年度から博物館ボランティアとして 8 人が新たに加わることとなった。なお、令和 8 年度から博物館ボランティアと丹羽文雄記念室語り部ボランティアを統合することに伴い、博物館ボランティアとして一本化して募集を行った。

登録者数 32 人 延べ活動者数 1,433 人

(12) 講座講師の派遣

地区市民センター等館外で行われる講演会等への講師派遣を実施している。博物館の担うべき教育普及機能としての活動、市民の学習意欲を高めるための活動、また、博物館に親しんでもらうための活動として積極的に対応しているところである。

月 日	演 題	主催者	参加者数
4 月 3 日 (木)	日本人はなぜ漫画が好きなのか	熟年大学 37 期 OB 会	23 人
4 月 17 日 (木)	丹羽文雄が愛した美術	シニアサークル「男の囲炉裏端」の会	20 人
4 月 25 日 (金)	四日市の歴史	四日市大学	153 人
7 月 30 日 (水)	ホンモノとニセモノ	橋北地区社会福祉協議会	15 人
8 月 5 日 (火)	古代の北勢地域	日永郷土史研究会	20 人
9 月 17 日 (水)	丹羽文雄が愛した美術	浜田小学校	77 人
9 月 26 日 (金)	ホンモノとニセモノ	熟年大学 33 期 OB・OG 会研修委員会	33 人
11 月 20 日 (木)	心を包む風呂敷	北星高校	30 人
11 月 23 日 (日・祝)	心を包む風呂敷	北星高校	28 人
令和 8 年 2 月 19 日 (木)	古代の北勢地域	熟年大学 33 期研修委員会	24 人
2 月 25 日 (水)	伝説のおもしろ生物学	一般財団法人白寿会	30 人
合 計 11 回			453 人

(13) 博物館講座の番組放送

博物館への来館が困難な方へ当館の活動を広く知っていただくことを目的に、教育普及の一環として一般向け講座を収録し、C T Yにて放送した。

講座開催日	放送日	講座名	講師
11 月 22 日 (土)	令和 8 年 1 月 4 日 (日)	館長講座「日本美術あれこれ—日本美術の成り立ち—」	毛利伊知郎 (当館館長)
	1 月 11 日 (日)		
	1 月 18 日 (日)		
	1 月 25 日 (日)		

(14) 3Dデジタルコンテンツ映像の製作

展覧会の記録をより詳細に残すとともに、学校等で教材としての活用や博物館への来館が困難な方を含め、多くの方へ過去の展覧会を知っていただくことを目的とし令和 3 年度から学習支援展示を中心に展覧会会場の 3D V R 映像を製作、博物館ホームページで公開している。

令和 7 年度は、特集展示「館蔵品展Ⅱ 没後 20 年 丹羽文雄と手紙」の 3D デジタルコンテンツ映像を製作した。

(15) 外部協力

株式会社 JERA からの依頼により、川越火力発電所施設に入り込んだウミガメの救出作業への協力を行った。

令和 7 年 9 月 12 日 (金)・18 日 (木)・24 日 (水)

4 資料収集保存事業

(1) 資料収集と保存

博物館の諸活動のなかで最も基本となる活動として、各資料の収集を図り、その保存に努めた。

なお、四日市市立博物館では、資料収集上の専門事項について審議または、指導・助言を得るため、「四日市市立博物館資料委員会」を設置している。令和 7 年度の委員は下表のとおりで、令和 7 年度は会議を 1 回開催した。

令和 8 年 3 月 24 日(火) 14:00～15:30

議題：①令和 6・7 年度の収蔵品受け入れ状況について

②令和 7 年度寄贈予定資料について

[四日市市立博物館資料委員会]

令和 8 年 3 月 31 日現在

氏名	担当分野	所属
上野 秀治	歴史	皇學館大学名誉教授
穂積 裕昌	考古	三重県埋蔵文化財センター所長
久志本 まどか	民俗	四日市市文化財保護審議会委員
速水 豊	絵画	三重県立美術館館長
大槻 倫子	工芸	愛知県陶磁美術館学芸課長
栗原 行人	自然史	三重大学教育学部教授

(2) 資料燻蒸

資料は受け入れ毎に、随時、燻蒸庫にて燻蒸の後、収蔵した。令和 7 年度は、文化財 I P M (総合的有害生物管理) モニタリングを秋・冬・初春の 3 回実施し、虫や菌の発生状況を把握し、虫菌害の発生しにくい環境を維持していくための対策を講じた。

(3) 資料の状況 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

区分	実物・標本	模写模型
1 人文科学資料		
(1) 考古	1,460	25
(2) 美術工芸	5,552	25
(3) 民俗	6,180	17
(4) 歴史	11,919	62
(5) 文学	4,940	8
計	30,051	137

区分	実物・標本	模写模型
2 自然科学資料		
(1) 動物資料	0	0
(2) 植物資料	1,985	0
(3) 地学資料	131	4
(4) 理工学資料	0	0
(5) 天文資料	7	0
(6) その他	2	0
計	2,125	4

※資料点数合計 32,317 点

(4) 新収蔵資料

①令和 7 年度寄贈資料

番号	資料名	分野	寄贈年月日	件数 (数量)	寄贈者
1	めんこ、他	歴史 民俗	7 月 15 日	歴史 75 件 (131 点) 民俗 17 件 (206 点)	榎本 和子
2	第一種軍隊手牒	歴史	10 月 31 日	1 件 (1 点)	個人
3	丹羽文雄草稿「海ゆかば 艦内生活の断片」(1 枚) 及び関連資料	歴史	11 月 15 日	1 件 (1 点)	個人
4	原油タンカー「神宮丸」模型	歴史	11 月 15 日	1 件 (1 点)	コスモ石油株式会社
5	天明後米一俵価格表	歴史	11 月 29 日	1 件 (1 点)	内田 龍美
6	小林良隆家資料	歴史	12 月 2 日	1 件 (130 点)	小林 良隆

7	小林かいち肖像写真（複製）	歴史	12月16日	1件（1点）	小林 嘉寿
8	富永岩太郎立案 第三學年 小學理科筆記帳 他	歴史	12月16日	1件（48点）	県小学校
9	縄ない機	民俗	令和8年 3月18日	1件（1点）	三輪 正敏
10	富田鯨船模型	民俗	3月19日	1件（1点）	個人
11	COLOR CABIN SLIDE PROJECTOR	民俗	3月26日	1件（1点）	個人
12	田中増治郎家文書	歴史	3月28日	1件（193件）	田中 成美
合計			103件（716点）		

②令和7年度寄託資料

令和7年度は新たな寄託資料は無かった。

（5）資料の活用

①資料の特別利用

利用区分	管理番号	資料名	利用者	利用目的
熟覧 撮影	歴史 004510 民俗 005117 民俗 005118 民俗 005119 民俗 006084	画図西遊譚 木版伊勢四日市諏訪明神御祭礼黎物 一枚刷七枚 木版伊勢四日市諏訪明神御祭礼黎物 卷子本イ 一卷 木版伊勢四日市諏訪明神御祭礼黎物 卷子本ロ 一卷 古川町鯨船権現丸船体横幕	三重県総合博物館	展覧会
熟覧 模写 拓本 撮影	考古 000931 ～001587	岩野見司コレクション（考古資料）	いなべ市教育委員会	市史編纂にかか る学術研究
熟覧 模写 拓本 撮影	歴史 005235	稲葉家文書	個人	学術調査・研究（土 木史・都市形成史）
熟覧 模写 拓本 撮影	歴史 017255	小林良隆家資料	個人	地域史の研究
熟覧 撮影	歴史 000057	扁平鈕式六区袈裟襷文銅鐸	個人	弥生時代の朝明郡 の研究

②資料の館外貸出

管理番号	資料名	貸出期間	使用者	使用目的
歴史 004510 民俗 005117	画図西遊譚 木版伊勢四日市諏訪明神御祭礼黎物一枚刷七枚	10月4日 ～ 10月31日	三重県総合博物館	第43回企画展「まつりを旅する 受け継いできた三重の宝もの」

歴史 005269	石川利光 芥川賞祝賀会 芳名帖	7月16日 ～ 10月31日	吉村昭記念文学館	令和7年企画展「吉村昭と「文学者」」
歴史 005307	丹羽文雄書簡 石川利光宛 昭和42年7月28日消印 丹羽文雄 吉村昭宛書簡 丹羽文雄自筆原稿「処女作『鮎』」 単行本『鮎』特装 『文学者』43冊			
	四日市空襲と戦時下のくらし貸出用写真	7月10日 ～ 7月18日	四日市市立神前こども園	反戦平和なかよしのつどい（園行事）
美工 004317 ～005326 （うち51点）	萬古焼（51点）	6月18日 ～ 9月12日	公益財団法人四日市市文化まちづくり財団	「Re: 萬古展～三年ぶりの再会」
歴史 005820	三重本草稿（巻2・3・16・20） 三重本草（巻21・25・27） 三重本草稿附録 五 三重本草附録 十三 大相溪大台山巡回紀行	4月8日～ 7月9日	三重県立熊野古道センター	企画展「本草学者がみた熊野」

③画像の提供

25件の画像提供をおこなった。

5 調査研究事業

（1）調査研究

学芸員の博物館専門職員としての資質を高め、特別展示の開催等、多くの事業に資するため、各種情報の収集に努めつつ、調査研究活動を行っている。今後も常設展示、特別展示等の充実、教育普及事業の活発化、各専門分野における自己研鑽に努めつつ、他の博物館や公共機関等の調査研究活動への協力、資料収集、展示等への技術的指導と助言・援助、また、いろいろな施設で開催される各種の講演会等への講師派遣など研究成果の還元を図っている。そのため、館及び分野ごとの共通テーマに基づいた年度ごとの課題調査、学芸員個別の研究テーマによる調査、企画・特別展示に向けた事前の調査など、博物館の諸活動を支える基礎的活動を活発に展開していきたいと考えている。

課題調査

市内所在資料・コレクション等調査
 岩野見司旧蔵考古資料調査
 次年度以降企画・特別展示調査
 昭和のくらし道具調査
 江戸期から明治期の四日市の景観の研究調査
 教育普及事業（ワークショップ・学習支援展示）調査

萬古焼研究会の開催

萬古焼の研究者や近隣館の学芸員など萬古焼に関心のある研究者で、萬古焼の研究会を行った。
 8月22日（金）、11月14日（金）、令和8年2月4日（水）

研究成果発表

毛利伊知郎（当館館長）
 「橋本平八の思想形成」『没後90年 橋本平八展』（三重県立美術館）
 篠昌志（企画普及係学芸員）
 「七世紀後半の東アジア情勢と「禰軍墓誌」」『続日本紀研究』443
 平野佑弥（天文係学芸員）

「SQM-L を用いた四日市市における夜空の明るさの時間変化に関する調査」『研究紀要（当館HP）』
 森拓也、森山翔太（企画普及係学芸員）
 「NFS 玉井式 2 号機の縮尺模型の製作と構造について」『研究紀要（当館HP）』

講演・発表（オンライン公開含む）

開催日	講演名	開催地	発表者
8 月 24 日(日)	没後 90 年 橋本平八展 記念講演会 「橋本平八について考える」	三重県立美術館	毛利伊知郎（当館館長）
10 月 17 日(月)	令和 7 年度第 1 回 J P A 東海プラネタリウムWG研修会	岐阜市科学館	平野佑弥（天文係学芸員）
令和 8 年 1 月 10 日(土)	天文教育普及研究会近畿支部会	オンライン	平野佑弥（天文係学芸員）

メディア出演

放送日	放送局	番組名	出演
6 月 11 日(水)	CBC テレビ	ニュース X	森拓也（企画普及係学芸員）
8 月 16 日(土)	読売テレビ	サタデーNEWS ジグザグ	森拓也（企画普及係学芸員）
8 月 16 日(土)	東海ラジオ	1・2・3 四日市メガリージョン!!∞(エイト)	平野佑弥（天文係学芸員）
10 月 13 日(月・祝)	テレビ東京	ガイアの夜明け	森拓也（企画普及係学芸員）
10 月 31 日(金)	CTYFM	こちら北勢よろづ研究所	平野佑弥（天文係学芸員）、脇谷天音（天文係職員）
11 月 1 日(土)	FM 三重	中部電力 Weekend Cafe	平野佑弥（天文係学芸員）
12 月 13 日(土)、 12 月 20 日(土)	中京テレビ	四日市に行ったら人生が 180 度変わった件	平野佑弥（天文係学芸員）
令和 8 年 1 月 4 日(日) ～1 月 25 日(日)	CTY CNS	日本美術あれこれ～日本美術の成り立ち～	毛利伊知郎（当館館長）
3 月 6 日(金)	CTYFM	こちら北勢よろづ研究所	平野佑弥（天文係学芸員）
3 月 16 日(月)、3 月 19 日(木)、 3 月 21 日(土)、3 月 24 日(火)、 3 月 29 日(日)、3 月 30 日(月)	CTYFM	ラジネタリウム おとでめぐる、ほしのよる	平野佑弥（天文係学芸員）、脇谷天音（天文係職員）

(2) 館蔵資料の翻刻作業

古文書ボランティアに、おおよそ月 2 回、当館で翻刻活動をしていただいている。令和 7 年度の活動は、全 16 回で、参加人数は延べ 112 人であった。

また、中京大学名誉教授播磨良紀氏及び中京大学等の近世史研究者に、翻刻原稿の確認を依頼することとしており、令和 7 年度は、確認作業を 3 回行っていただいた。

成果は、今後発表していく予定である。

(3) 館蔵資料を活用した共同研究

当館所蔵の旧記録媒体の内、VHS ビデオテープのデジタル化に際して、四日市大学と共同で「昭和 9 年の四日市まつり」の 8mm フィルムのテレシネ映像について、デジタルリマスターによる修復を行った。

令和7年度展示資料一覧

企画展「昭和のくらし昭和のまつり」(企画展 令和8年1月2日(金)～3月1日(日))

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
研究資料	俵(レプリカ)		昭和	藁
研究資料	むしろ		昭和	藁
研究資料	座布団		昭和	布
研究資料	棕櫚ぼうき		昭和	棕櫚
民俗000036	ザル(そばあげザル)		昭和	竹
民俗000260	米櫃(小 ブリキ製)		昭和	ブリキ
民俗000268	ランプ		昭和	ガラス、金属
民俗000291	フルイ		昭和	木
民俗000344	火のし		昭和	金属、木
民俗000502	釜(大)		昭和	金属、木
民俗000510	大鍋		昭和	金属、木
民俗000516	鉄ビン		昭和	金属
民俗000532	大和こたつ		昭和	瓦
民俗000537	家庭薬袋		昭和	紙
民俗000569	竹箕		昭和	竹
民俗000570	竹箕		昭和	竹
民俗000571	竹箕		昭和	竹
民俗000577	竹箕		昭和	竹
民俗000611	針箱		昭和	木、金属
民俗000649	冷蔵庫		昭和	木、金属
民俗000781	ハエ帳		昭和	木、金属
民俗000818	火鉢		昭和	陶器
民俗000819	置きこたつ		昭和	木
民俗000895	タンス		昭和	木、金属
民俗001006	はし		昭和	木
民俗001043	わらざうり		昭和	藁
民俗001071	水屋		昭和	木、金属
民俗001112	スリコギ		昭和	木
民俗001158	井戸の水桶 つるべ桶		昭和	木
民俗001355	まな板		昭和	木
民俗001429	樽		昭和	金
民俗001467	飯櫃		昭和	木、金属
民俗001482	ロザル		昭和	竹
民俗001485	時計		昭和	木、金属
民俗001494	火鉢		昭和	陶器
民俗001500	ザル(足付き)		昭和	竹
民俗001537	飯シャモジ		昭和	木
民俗001783	柳こり		昭和	竹
民俗001784	木箱		昭和	木
民俗001929	飯釜		昭和	木、金属
民俗001930	カゴ		昭和	竹
民俗001933	備中グワ		昭和	木、金属
民俗001962	風呂クワ		昭和	木、金属
民俗002431	ツイタテ		昭和	木
民俗003592	セイロ		昭和	木
民俗003626	徳利		昭和	陶器
民俗003827	石臼		昭和	石、竹
民俗003889	鉄ビン		昭和	金属
民俗003905	大和ごたつ		昭和	瓦
民俗003981	徳利		昭和	陶器
民俗003982	徳利		昭和	陶器
民俗004104	横づち		昭和	木
民俗004155	角形運搬カゴ		昭和	竹
民俗005016	炭かご		昭和	竹
民俗005030	ユザ		昭和	竹
民俗005062	張り板		昭和	木
民俗005066	火おこし		昭和	木、金属
民俗005068	座布団		昭和	布
民俗005075	洗濯板		昭和	木
民俗005076	洗濯たらい		昭和	金
民俗005313	炭火アイロン		昭和	金属
民俗005326	火のし		昭和	金属、木
民俗005330	唐箕		昭和	木
民俗005331	ザル(イカキ)		昭和	竹
民俗005342	焼き網		昭和	金属
民俗005343	柄杓		昭和	金属、木
民俗005433	ラジオ		昭和	木、金属
民俗005504-1	すり鉢・すりこぎ		昭和	陶器
民俗005646	こて台		昭和	布
民俗005763	たらい		昭和	木
民俗005809	和裁くけ台		昭和	木、布
民俗005972	ちゃぶ台		昭和	木
民俗005992	台付十能		昭和	金属、木
民俗005997	柄杓		昭和	金属、木
民俗006116	竹ザル		昭和	竹
民俗006158	番傘		昭和	竹、紙、木
民俗006166	ハエ取り器		昭和	木
民俗006175	十能		昭和	金属、木
民俗006330	ひなの給餌器		昭和	金属
民俗006333	壁掛け式電話機		昭和	金属、木
民俗006499	七輪		昭和	珪藻土
民俗006505	竹ザル		昭和	竹
民俗006691	ハソリ		昭和	金属
民俗006878	ミシン(EMPRESS)		昭和	金属、木
民俗006980	洗濯板		昭和	木
民俗006989	洗面桶		昭和	金属、木

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
民俗006993	バケツ型桶		昭和	木、竹
民俗007279	裁縫用具一式		昭和	竹
民俗007362	消し壺		昭和	粘土
民俗007363	柳行李		昭和	柳
民俗007558	鏡台		昭和	ガラス、木
民俗007715	こて		昭和	金属、木
民俗007725-2	蓄音機の台		昭和	木
民俗007887	炭かご		昭和	竹
民俗007888	火起こし		昭和	金属、木
民俗007924	ソロバン		昭和	木
民俗000690	鐘(ハンドベル)		昭和	金属、木
民俗003169	万年筆ケース入り		昭和	革
民俗005358	教育用地球儀アース8号		昭和	金属、プラスチック
民俗005545	足踏みオルガン		昭和	木
民俗005846	プロッター		昭和	木
研究資料	謄写版印刷用品一式		昭和	金属、木、紙
民俗005957	ランドセル		昭和	革
民俗006707	ランドセル		昭和	革
民俗007267	温度計		昭和	木
歴史014948	児童用机		昭和	木
歴史014949	児童用椅子		昭和	木
歴史014950	児童用椅子		昭和	木
歴史014951	教示用算盤		昭和	木
歴史015325	児童用椅子		昭和	木
歴史015326	児童用椅子		昭和	木
歴史015327	児童用椅子		昭和	木
歴史015328	児童用机		昭和	木
歴史015329	児童用机		昭和	木
歴史015330	教卓		昭和	木
歴史015350	先生用教室机		昭和	木
歴史015633	児童用椅子		昭和	木
民俗005520-1	鉛筆削り(手動式)		昭和	金属、プラスチック
民俗005774	文具(消しゴム、クリップ他)		昭和	紙
民俗005825	鉛筆		昭和	木、紙
民俗005834	ダイモ		昭和	プラスチック
民俗005866	鉛筆削り		昭和	プラスチック
民俗006031	鉛筆 (19本)		昭和	木
民俗006103	セルロイドの筆箱		昭和	セルロイド
民俗006319	ゼムクリップの箱		昭和	紙
民俗006325	鉛筆		昭和	木
民俗006492	セルロイドの筆箱		昭和	セルロイド
民俗006637	筆箱		昭和	革、金属
民俗006638	貯金箱		昭和	金属
民俗006642	シャープペン		昭和	金属
民俗006665	折りたたみナイフ		昭和	金属
民俗006705	セルロイドの筆箱		昭和	セルロイド
民俗006879	サインペン		昭和	プラスチック
民俗007220	セルロイドの小物入れ		昭和	セルロイド
民俗007426	15cm 定規		昭和	プラスチック
民俗007520	ノート 小		昭和	紙
民俗007521	メモ帳		昭和	紙
民俗007522	ノート B5		昭和	紙
歴史003605	小学学習帳 3冊		昭和	紙
歴史007535	新訂 あたらしいさんすう 1		昭和	紙
歴史007540	改訂 りか 1		昭和	紙
歴史014152	しょうがく しん こくご 1ねん下		昭和	紙
歴史014154	小学 新国語 4年上		昭和	紙
歴史014158	小学校 理科 4年上		昭和	紙
歴史014160	小学校 社会科 4年		昭和	紙
歴史014570	しょうがくしんこくご 一ねん下		昭和	紙
歴史014571	小学 新国語 6年上		昭和	紙
歴史014696	あたらしい しゃかい1		昭和	紙
歴史015240	明るい生活 6年		昭和	紙
歴史015247	小学 社会 3年下		昭和	紙
歴史016290	しょうがく しんこくご 1ねん 上・下		昭和	紙
歴史016291	あたらしい さんすう 1ねん 上		昭和	紙
歴史016355	新しい算数 3 下		昭和	紙
歴史016358	理科 3		昭和	紙
借用資料	白衣		昭和	布
研究資料	視力表		昭和	紙、金属
研究資料	教師用机		昭和	木
研究資料	煮沸器		昭和	金属、プラスチック
研究資料	薬品棚		昭和	ガラス、金属
研究資料	座高計		昭和	木、金属、プラスチック
研究資料	手洗器		昭和	金属
民俗007270	バーテーション		昭和	金属、布
民俗007271	身長計		昭和	木、金属
民俗007272	体重計		昭和	ガラス、金属
研究資料	洗面器		昭和	金属
借用資料	ローラー付き洗濯機 三菱MW-201		昭和	金属、プラスチック、合成ゴム
民俗000126	角皿		昭和	陶器
民俗000391	家庭薬箱		昭和	紙、金属
民俗000866	乳母車		昭和	籐
民俗001355	マナ板		昭和	木
民俗001587	信玄袋		昭和	竹、布
民俗001636	消毒綿入れ		昭和	金属
民俗001821	フタ付木箱		昭和	木
民俗002026	珠のれん		昭和	木
民俗003863	カモメホーム洗濯器		昭和	アルミニウム

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
民俗004143	箸と箸箱		昭和	木
民俗005416	ライオン歯磨き粉		昭和	紙
民俗005502	かつお節削り器		昭和	木、金属
民俗005504-1	すり鉢①		昭和	陶器
民俗005514	時計		昭和	木、ガラス、金属
民俗005520-2	鉛筆削り(手動式)		昭和	金属、プラスチック
民俗005625	電気釜		昭和	金属、プラスチック
民俗005635	真空管ラジオ		昭和	金属、プラスチック
民俗005638	ちゃぶ台		昭和	木
民俗005640	扇風機		昭和	金属、プラスチック
民俗005650	弁当箱		昭和	アルミニウム
民俗005651	編み籠(くずかご)		昭和	金属、ビニール
民俗005736	噴霧器		昭和	金属
民俗005768	文机		昭和	木
民俗005769	本棚		昭和	木
民俗005770	洋タンス		昭和	木
民俗005772	靴箱		昭和	木
民俗005793	茶器入れ		昭和	プラスチック
民俗005803	衣桁		昭和	木
民俗005804	夏敷物		昭和	ビニール
民俗005807	スポーツバッグ 緑		昭和	合皮、金属、プラスチック、ビニール
民俗005808	スポーツバッグ 白		昭和	合皮、金属、ビニール
民俗005815	半袖ワンピース 白紺		昭和	布
民俗005818	蚊取り線香缶		昭和	鉄
民俗005819	灰皿		昭和	金属・陶器
民俗005827	テーブルセンター		昭和	布
民俗005856	い草座布団		昭和	いぐさ
民俗005857	ペナント		昭和	紙・不織布など
民俗005933	白黒テレビ(日立)		昭和	プラスチック
民俗005940	電話機		昭和	プラスチック・金属
民俗005943	噴霧器		昭和	金属・プラスチック
民俗005945	ちり取り		昭和	木・金属
民俗005947	フライパン(大)		昭和	金属
民俗005955	時計		昭和	木・金属
民俗005961	ダッコちゃん		昭和	ビニール
民俗005985	ベビーパウダー		昭和	紙
民俗005991	ワイパア 蚊取り線香		昭和	紙
民俗005996	お玉		昭和	金属
民俗006001	月姫サイダー		昭和	ガラス
民俗006002	アサヒナミサイダー		昭和	ガラス
民俗006003	キンレモン		昭和	ガラス
民俗006004	三羽鶴サイダー		昭和	ガラス
民俗006005	三ツ矢サイダー		昭和	ガラス
民俗006006	ラムロサイダー		昭和	ガラス
民俗006007	カゴメソーダ		昭和	ガラス
民俗006015	置時計		昭和	プラスチック
民俗006018	食卓カバー		昭和	ビニール、金属
民俗006025	文箱		昭和	木
民俗006032	食卓テーブル		昭和	木、金属
民俗006046	エスカップ ワンポイントカップ		昭和	プラスチック
民俗006047	ビクニッククーラー 3個		昭和	紙、プラスチック
民俗006053	ニューヨークタンブラー 12個		昭和	紙、ガラス
民俗006054	牛乳石鹸 5個		昭和34年	紙、石鹸
民俗006099	箸箸		昭和	木
民俗006106	やかん		昭和	金属
民俗006109	洗面器		昭和	プラスチック
民俗006114	プラスチックザル		昭和	プラスチック
民俗006115	プラスチックザル		昭和	プラスチック
民俗006127	フライ返し		昭和	金属、プラスチック
民俗006128	トンゴ		昭和	金属、プラスチック
民俗006131	せんぬき		昭和	金属
民俗006134	ブルービーケース		昭和46年	皮革
民俗006139	スラックス		昭和	布
民俗006145	牛乳箱		昭和	木
民俗006154	洗濯機		昭和29年2月	金属
民俗006189	シッカロール		昭和	金属
民俗006192	パピリオ粉		昭和	金属
民俗006197	薬のビン		昭和	ガラス
民俗006300	しょう油びん		昭和	ガラス
民俗006302	木製ハンガー		昭和	木、金属
民俗006306	スプーン		昭和	金属
民俗006318	電気スタンド		昭和	金属、プラスチック
民俗006337	サランラップ		昭和	紙、プラスチック
民俗006501	洗面器		昭和	金属
民俗006654	ホーローなべ		昭和	ホーロー、ガラス、金属、プラスチック
民俗006655	料理用バット		昭和	金属
民俗006657	ホーローなべ		昭和	ホーロー、金属、プラスチック
民俗006662	歯付きお玉		昭和	金属
民俗006663	なべしき		昭和	金属
民俗006666	椅子		昭和	木
民俗006673	冷蔵庫		昭和32年	金属
民俗006704	木製ハンガー		昭和	木、金属
民俗006713	掃除機(ナショナル製)		昭和39年頃	プラスチック
民俗006766	蛍光灯		昭和	ガラス、金属
民俗006852	ヴィケット(お菓子の缶)		昭和	金属
民俗006872	歯磨き粉の缶		昭和	金属
民俗006910	西洋剃刀		昭和	金属
民俗006982	キンビール大瓶贈答用紙箱		昭和30～40年代	紙
民俗006983	ニッサン粉石けんの缶		昭和30～40年代	金属

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
民俗006985	浪花名産あみだ池おこしの缶		昭和30～40年代	金属
民俗006987	名糖粉末ミックスジュースの缶		昭和20～40年代	金属
民俗007003	ガラス小鉢一揃		昭和40～50年代前半	ガラス
民俗007012	歯ブラシ		昭和	木
民俗007022	将棋一式		昭和初期	木
民俗007026	mcc soapの箱		昭和40年代以降	紙
民俗007133	トランク		昭和	皮革、金属
民俗007228	ブリキのおもちゃ「PAPA AND SONNY」		昭和	ブリキ、紙
民俗007249	ランドセル		昭和56年	皮革、金属
民俗007275	せんぬき		昭和	金属
民俗007277	すりこぎ		昭和	木
民俗007278	皮むき		昭和	木、金属
民俗007331	座布団		昭和	布
民俗007345	ポット		昭和40年代	金属
民俗007355	ペナント		昭和	布
民俗007371	黒電話		昭和40年代頃	プラスチック、金属
民俗007390	菓子器		昭和	木
民俗007394	弁当箱		昭和	金属
民俗007395	弁当箱		昭和	金属
民俗007399	英国紅茶缶		昭和	金属
民俗007420	鍋敷き		昭和	木
民俗007505	ステンレス計量カップ		昭和	金属
民俗007526	バター飴の缶		昭和	金属
民俗007528	明治ミルクココアの缶		昭和	金属
民俗007532	小皿(ジャスコ景品)		昭和	陶器
民俗007551	薬の缶		昭和	金属
民俗007570	味の素 缶		昭和	金属
民俗007571	セルロイド石鹸箱		昭和	金属
民俗007573	ごはん型		昭和30年代	金属
民俗007577	穴あきお玉		昭和	金属
民俗007584	魔法瓶		昭和40年代	金属
民俗007601	アルマイ洗面器		昭和	金属
民俗007634	お玉		昭和	金属
民俗007665	うちわ		昭和	紙、木
民俗007687	ミニチュアボトル サントリ－V.S.O.P		昭和	ガラス
民俗007688	味の素(ふた角形)		昭和	ガラス、プラスチック
民俗007691	盆		昭和	プラスチック
民俗007696	プラスチック製皿		昭和	プラスチック
民俗007697	ガラス器		昭和	ガラス
民俗007698	栓抜き		昭和	金属、木
民俗007699	切り砂糖入れ スプーン付き		昭和	金属、ガラス、プラスチック
民俗007700	醤油さし		昭和	ガラス
民俗007701	調味料入れ(揃え 4ヶ)		昭和	ガラス、プラスチック
民俗007707	ガラスコップ 4個		昭和	ガラス
民俗007708	リボシトロンビン		昭和	ガラス
民俗007709	キリンジュースビン		昭和	ガラス
民俗007710	ファンタビン		昭和	ガラス
民俗007711	ラムネビン 2本		昭和	ガラス
民俗007778	アルミ缶		昭和	金属
民俗007803	Super car XI-9		昭和	プラスチック
民俗007875	トースター		昭和	金属
民俗007940	ところてん突き		昭和	木
民俗007948	砂糖・塩のビニール袋		昭和	プラスチック
民俗007967	おろし金		昭和	金属
民俗007969	ガス炊飯器		昭和	金属、プラスチック、塩ビ
民俗007993	アヒル(ソフトビニール製)		昭和	塩ビ
民俗007994	金魚		昭和	塩ビ
民俗008044	お菓子空き箱		昭和	紙、プラスチック
研究資料	はたき		昭和	木
民俗008248	ホーロー看板「靴のカミソ」		昭和	金属
民俗008237	水屋		昭和	木
民俗008272	ZOUJIRUSI ライザー		昭和	金属、プラスチック
民俗008273	ジュース(富士電機I-164)		昭和	金属、プラスチック、紙
民俗008289	オルゴール(キャンディキャンディ)		昭和	紙、プラスチック
借用資料	アイスクリーム冷蔵庫		昭和	金属
借用資料	お面(5点)		昭和	プラスチック
借用資料	かき氷機		昭和	金属
借用資料	キンビール ポスター(レプリカ)		昭和	紙
借用資料	実用自転車(3台)		昭和	金属、プラスチック
借用資料	駄菓子ケース(8ケース+3瓶)		昭和	プラスチック
借用資料	東京ヒットソング ポスター		昭和	紙
借用資料	ナショナルランプ・乾電池正偏表		昭和	紙
借用資料	ホーロー看板(カメソース・ハイアース・オロナミンC)		昭和	金属
借用資料	郵便配達自転車		昭和	金属、プラスチック
借用資料	郵便ポスト		昭和	金属
借用資料	ラムネビンケースセット		昭和	ガラス、プラスチック
借用資料	赤電話(公衆電話)		昭和	金属、プラスチック
民俗007274	たばこ屋 ショーケースカウンター		昭和	ガラス、金属
民俗007640	キックスケーター		昭和	金属、プラスチック、ゴム
民俗006333	壁掛け電話		昭和	木、金属
民俗005627	黒電話(旧型)		昭和	プラスチック、金属
民俗005513	黒電話		昭和	プラスチック、金属
民俗005952	赤電話		昭和	プラスチック、金属
民俗007384	ピンク電話		昭和	プラスチック、金属
民俗006513	ブッシュホン		昭和	プラスチック、金属
民俗006149	アンテナ付き携帯電話		昭和	プラスチック、金属
民俗006150	アンテナ付き携帯電話		昭和	プラスチック、金属
民俗006151	アンテナ付き携帯電話		昭和	プラスチック、金属
民俗007383	英文タイプライター		昭和	プラスチック、金属

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
民俗007134	ワードプロセッサ		昭和	プラスチック、金属
民俗005744	ワードプロセッサ		昭和	プラスチック、金属
民俗007975	ワードプロセッサ		昭和	プラスチック、金属
研究資料	和文タイプライター		昭和	プラスチック、金属
民俗005880	2眼レフカメラ		昭和	プラスチック、金属
民俗005884	1眼レフカメラ		昭和	プラスチック、金属
民俗005628	オートカメラ		昭和	プラスチック、金属
民俗007626	トイカメラ		昭和	プラスチック、金属
民俗005879	トイカメラ		昭和	プラスチック、金属
研究資料	デジタルカメラ(参考展示)ニコンD1(1999)		昭和	プラスチック、金属
研究資料	蛇腹カメラ		昭和	プラスチック、金属
民俗007760	8mmカメラ・ゼンマイ式		昭和	プラスチック、金属
民俗005725	8mmカメラ・ゼンマイ式		昭和	プラスチック、金属
民俗007759	8mmカメラ・スケルトン		昭和	プラスチック、金属
民俗007215	8mmカメラ・シングルエイト		昭和	プラスチック、金属
民俗007995	インスタントカメラ		昭和	プラスチック、金属
研究資料	カメラ一体型8ミリビデオ ソニーTR55(1989年)		昭和	プラスチック、金属
民俗007377	8mm映写機		昭和	プラスチック、金属
民俗006153	モノクロテレビ		昭和	プラスチック、金属
民俗005403	カラーテレビ		昭和	プラスチック、金属
民俗007977	トランジスタテレビ		昭和	プラスチック、金属
民俗007899	βビデオデッキ		昭和	プラスチック、金属
研究資料	16mm映写機		昭和	プラスチック、金属
民俗003652	電気行灯		昭和	プラスチック、金属
民俗000268	ランプ		昭和	金属、ガラス
民俗000345	カンテラ		昭和	金属、ガラス
民俗007567	ランタン		昭和	金属、ガラス
民俗005816	ラジカセ		昭和	プラスチック、金属
民俗007136	ウォークマン		昭和	プラスチック、金属
民俗007725	蓄音機		昭和	プラスチック、金属
民俗005430	レコードプレーヤー		昭和	プラスチック、金属
民俗005429	ポータブルレコードプレーヤー		昭和	プラスチック、金属
民俗007252	ステレオレコードプレーヤー		昭和	プラスチック、金属
民俗008276	鉱石ラジオ		昭和	鉱石、金属、木
研究資料	真空管ラジオ(戦前型)		昭和	金属、木
民俗005635	真空管ラジオ(戦後型)		昭和	プラスチック、金属
民俗005516	トランジスタラジオ(初期型)		昭和	プラスチック、金属
民俗008258	トランジスタラジオ		昭和	プラスチック、金属
研究資料	カードラジオ		昭和	プラスチック、金属
研究資料	電子辞書		昭和	プラスチック、金属
研究資料	シャープ電子辞書第1号写真パネル		昭和	紙
研究資料	硬券		昭和	板紙
研究資料	改札バサミ		昭和	金属
民俗008046	ボードゲーム		昭和	紙、プラスチック
民俗007953	ファミコン		昭和	プラスチック、金属
研究資料	ゲームボーイ		昭和	プラスチック、金属
民俗008261	ゲームボーイ		昭和	プラスチック、金属
研究資料	ゲームウォッチ		昭和	プラスチック、シリコン、金属
民俗005860	ゲームウォッチ		昭和	プラスチック、シリコン、金属
民俗007686	算盤(5つ玉)		昭和	木
民俗007163	算盤(4つ玉)		昭和	木
民俗006650	計算尺		昭和	木、アクリル
民俗005190	手廻し計算機		昭和	金属
民俗007974	電気計算機		昭和	プラスチック、金属
民俗005862	ポータブル電卓		昭和	プラスチック、金属
研究資料	カード電卓		昭和	プラスチック、金属
民俗007251	OPリールテープレコーダー(5インチ)		昭和	プラスチック、金属
民俗007999	OPリールテープレコーダー(2インチ)		昭和	プラスチック、金属
民俗008257	マイクロカセットレコーダー		昭和	プラスチック、金属
研究資料	OPリールテープレコーダー(3インチ)		昭和	プラスチック、金属
研究資料	カセットテープレコーダー		昭和	プラスチック、金属
借用資料	鯨(南納屋町明神丸)		昭和	木、竹、布、綿、金属、塩ビパイプ
歴史015691-4	模型「天岩戸」山車		昭和	—
歴史015691-7	大名行列		昭和	プラスチック、紙、木
歴史015691-5	鯨船明神丸模型		昭和	—
歴史015691-8	魚づくし模型		昭和	—
美工008904	四日市祭図		昭和	紙、布、木
民俗004169	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
民俗004170	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
民俗004172	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
民俗004173	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005666	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005669	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005639	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005741	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005740	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史008518	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史012084	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史012098	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史012099	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史012389	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史014500	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005597	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005600	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史005601	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史015321	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史015885	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史015887	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
歴史016048	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史016588	四日市祭禮絵葉書各種		昭和	紙
歴史015691-1	模型「浜田大山」山車		昭和	—
歴史015691-2	模型「唐子遊び」山車		昭和	—
民俗005118	木版伊勢四日市諏訪明神御祭礼黎物		昭和	紙
研究資料	1/10大山模型		昭和	—
民俗005114	四日市祭山車囃子道具一組		昭和	木、革、竹
民俗005115	旧四ツ谷新町からくり人形(猩々)		昭和	木、布、ばね
民俗005116	旧四ツ谷新町からくり人形(前木偶)		昭和	木、布、ばね
民俗006863	からくり人形(堅町・童子)		昭和	木、布、ばね
民俗006864	からくり人形(堅町・翁)		昭和	木、布、ばね
民俗006865	からくり人形(堅町・姫)		昭和	木、布、ばね
写真パネル	戦前の四日市祭写真・浦島太郎(南町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・現存する「浦島太郎」の山車		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・笠鉾(浜町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・菅公の文字はどうやって書く？		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・菅公謫居の状(新丁)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・御諏訪神輿		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・魚づくし(北条町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・紅葉狩り(北町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・上代人形(上新町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・獅子舞(新正町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・石橋の舞(四ツ谷新町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・大黒天宝袋を割る図(江田町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・大山車と小山車		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・天岩戸(新田町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・唐子遊び(中納屋町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・湯立て神事(中新町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・八岐大蛇退治(南町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・富士の巻狩り(南浜田町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・舞楽の行列(西町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・舞獅子(浜田・南浜田)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・謡曲人形(東中町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・和歌の三神(北浜田)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・司馬温公の襲破り(西中町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・鯨船明神丸(南納屋町)(額縁)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・鞍馬山僧正坊に牛若丸(下新町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・岩戸山		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・鯨船勢州組(北納屋町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・三番叟(南町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・神輿渡御・還御(西町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・諏訪太鼓		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・鯨船正一丸(東袋町)		昭和	—
写真パネル	戦前の四日市祭写真・倭姫命(西袋町)		昭和	—
民俗006889	鯨船勢州組衣装		昭和	布
民俗005608	鯨船明神丸横幕		昭和	布
民俗005608	鯨船明神丸オドリコ衣装		昭和	布
民俗005117	木版伊勢四日市諏訪明神御祭礼黎物		昭和	紙
歴史015691-3	模型「弁慶と牛若丸」山車		昭和	—
歴史015691-6	模型「大入道」山車(旧常設展示資料)		昭和	—
研究資料	大入道玩具1		昭和	陶器
研究資料	大入道玩具2		昭和	陶器
借用資料	鯨ひげ		昭和	鯨ひげ
借用資料	大入道の首		昭和	木、紐、鯨ひげ
借用資料	大入道模型(5分の1)		昭和	—
民俗008515	郷土玩具 大入道		昭和	木、紙
民俗000024	押し寿司器と台一式		昭和	木
民俗005572	押し寿司模型		昭和	樹脂

館蔵品展Ⅰ 新収蔵品展(令和7年5月13日(火)～6月1日(日))

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
歴史017116	近藤啓太郎草稿「父っちゃん坊や」	近藤啓太郎	昭和33年	紙
歴史017118	田村泰次郎草稿「ひとりの人原精一」	田村泰次郎	昭和40年	紙
歴史017119	田村泰次郎草稿『肉塊』第拾六回 ペン書 400字詰 22枚完	田村泰次郎	昭和24年10月	紙
歴史017120	田村泰次郎葉書 南風會宛 ペン書 昭29・8・12(消印)		昭和29年	紙
歴史017121	田村泰次郎葉書 南風會宛 ペン書 昭28・2・9(消印)		昭和28年	紙
美工009114	鯨船まつりー富田一丁目ー	本城直季	平成24年	写真
美工009119	大四日市まつりー諏訪町ー	本城直季	平成24年	写真
美工009123	鯨船まつりー鳥出神社・富田二丁目ー	本城直季	平成24年	写真
民俗008515	郷土玩具 大入道		昭和時代	紙、木
歴史017074	大四日市まつり記念切手帳		昭和56年8月1日～3日	紙
歴史017078	絵葉書 北伊勢地方のまつり		昭和43年以降	紙
歴史017114	マッチ箱		昭和50年代から昭和末期	紙
美工009126	箱の中の空c	伊藤利彦	平成9年	ラッカー、ひも、木
美工009128	カテドラル	伊藤利彦	昭和58年	紙
美工009129	イタリア	伊藤利彦	平成9年	紙
歴史017066	鑑札		文政12年(1829) 他	木
歴史017062	染見本		嘉永7年(1854)	紙、絹
歴史017065	三重郡用 神前尋常高等小学校 手工帳		明治後期～昭和初期か	紙
歴史017096	昭和29年 大協石油四日市製油所火災写真		昭和29年10月16日	紙
歴史017124	丹羽文雄葉書 竹村担宛 ペン書 昭12・5・25(消印)		昭和12年	紙
歴史017117	丹羽文雄草稿「あの晩の月」	丹羽文雄	昭和41年	紙

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
歴史017122	丹羽文雄草稿『遺産に就いて』ペン書 400字詰 6枚完	丹羽文雄	昭和23年	紙
歴史017123	丹羽文雄草稿『感想』ペン書 400字詰 3枚完	丹羽文雄	昭和40年	紙
歴史017125	丹羽文雄草稿『虹の家族(第3回)』	丹羽文雄		紙

学習支援展示 四日市空襲と戦時下の暮らし(令和7年6月10日(火)～8月31日(日))

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
歴史001010	貝製しゃもじ		昭和	貝、木
歴史001011	竹製フォーク		昭和	竹
歴史001198	陶製の湯たんぽ		昭和	陶器
歴史001939	陶製の水筒		昭和	陶器
歴史002877	陶製のボタン		昭和	陶器
歴史007502	陶製のかがみもち		昭和	陶器
歴史007652	陶製焙烙		昭和	陶器
歴史007653	灯火管制用電球		昭和	ガラス、金属
歴史008702	模擬手榴弾(陶製)		昭和	陶器
歴史008695	木製の戸車		昭和	木
歴史008775	陶製の戸車、木製の棧木		昭和	陶器、木
歴史008776	陶製フック		昭和	陶器
歴史013510	陶製のマッチ箱		昭和	陶器
歴史015202	座布団綿回収ニツイテ		昭和	紙
歴史006452	大日本国防婦人会たすき		昭和	布
歴史006250	千人針		昭和	布
歴史008748	出征幟		昭和	布
歴史011971	ラジオ		昭和	金属
歴史008604	日の丸の寄せ書き		昭和	布
歴史008724	お守り		昭和	布
歴史008795	臨時召集令状(赤紙)		昭和	紙
歴史012254	奉公袋		昭和	布
歴史012114-11	戦時郵便貯金切手(弾丸切手)		昭和	紙
歴史008638	写真週報 昭和18年1月6日号		昭和	紙
歴史002526	愛国献納新戦闘機命名式資料		昭和	紙
歴史002527	報国号飛行機命名式記念写真		昭和	紙
歴史002182	戦時下の学習帳		昭和	紙
歴史013937	戦時学徒必携		昭和	紙
歴史008657	戦時下の硬貨		昭和	金属
歴史008735	戦中・戦後の紙幣		昭和	紙
歴史005261	時局防空必携 昭和16年改訂版		昭和	紙
歴史007658	大日本防空協会発行冊子綴		昭和	紙
歴史013530-65	大型焼夷弾防護指導要領		昭和	紙
歴史008702	罹災証明書		昭和	紙
歴史008802	衣料切符・衣料品点数表		昭和	紙
歴史006457	戦前衣料切符		昭和	紙
歴史001021	衣料切符		昭和	紙
歴史006260	防空頭巾		昭和	布
歴史006455	米軍チラシ「機雷はかうして敷設されます」		昭和	紙
歴史006456	米軍チラシ「南海の孤島補給絶えて一年」		昭和	紙
歴史008111	米軍チラシ「感激の握手」		昭和	紙
歴史015195	開戦詔書		昭和	紙
歴史006116	宣戦布告ノ大詔		昭和	紙
歴史003850	四日市空襲で焼けたつば		昭和	陶器
歴史013919	入営を祝う提灯		昭和	紙、竹
歴史008780	慰問袋		昭和	布
歴史001738	慰問袋		昭和	布
歴史008778	陶製のガスコンロ		昭和	陶器
歴史002762	アサヒグラフ 第31巻 第22号		昭和	紙
歴史002764	アサヒグラフ 第31巻 第24号		昭和	紙
歴史006099	進め！一億火の玉だ！		昭和	紙
歴史007672	警報発令表示		昭和	紙
民俗001637	土ビン		昭和	陶器
民俗001043	ワラジウリ		昭和	わら、布
歴史000032	布製バケツ		昭和	布
歴史004329	灯火管制用カバー		昭和	紙、金属
歴史006094	灯火管制用カバー(S型)		昭和	紙
歴史013514	国民服		昭和	布
歴史001030	陶製の飯釜		昭和	陶器
研究資料	真空管ラジオ			金属
模型	代用食(サツマイモ)			—
写真パネル	空襲を受けた海軍燃料廠の建物			—
写真パネル	海軍燃料廠上空写真(戦前)			—
写真パネル	海軍燃料廠上空写真(戦後)			—
写真パネル	海軍燃料廠泊山工場			—
写真パネル	B29			—
写真パネル	焼け野原となった四日市			—
パネル	バンブキン解説			—
パネル	四日市空襲の被災状況			—
パネル	海軍燃料廠工場配置図			—
パネル	6月18日空襲の航路図			—
パネル	四日市空襲による主な被害			—
歴史007504	B29模型(1/72)			—
歴史007506	防空壕(林邸)			—
歴史007507	防空壕(近藤邸)			—
歴史007508	防空壕(川村邸)			—
歴史007509	M69集束焼夷弾本体カット模型			—
パネル	四日市空襲体験談			—
パネル	実物大バンブキン			—
歴史008172	防空壕のある広場(模型)			—
写真パネル	制服は割烹着			—

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
写真パネル	軍事教練と38式歩兵銃			—
写真パネル	皇軍・戦勝祈願			—
写真パネル	役に立たなかった防火訓練			—
写真パネル	金属供出			—
写真パネル	中学校(旧制)・高等女学校			—
写真パネル	警棒団と隣組			—
写真パネル	モンペ			—
写真パネル	女学生の炊き出し			—
写真パネル	宮城遙拝			—
写真パネル	勤労奉仕と勤労働員			—
写真パネル	女学生の薙刀訓練			—
写真パネル	女学生も滑空訓練			—

館蔵品展Ⅱ 没後20年丹羽文雄を手紙(令和7年9月9日(火)～10月26日(日))

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
歴史017051	丹羽文雄 田中増次郎宛書簡	丹羽文雄	1932/04/09	紙
歴史006758	丹羽文雄 火野葦平書簡	火野葦平	1940	紙
歴史006798	丹羽文雄 田村泰次郎書簡	田村泰次郎	1941か	紙
歴史007033	丹羽文雄 近藤啓太郎書簡	近藤啓太郎	1984	紙
歴史006887	丹羽文雄 大江健三郎書簡	大江健三郎	1983	紙
歴史006960	丹羽文雄 河野多恵子書簡	河野多恵子	1971	紙
歴史006994	丹羽文雄 河野多恵子書簡	河野多恵子	1971	紙
歴史006762	丹羽文雄 丹羽房雄書簡	丹羽房雄	1937	紙
歴史005564	田村泰次郎『学生的情熱』	田村泰次郎	1941/12/10発行	紙
歴史009218	丹羽文雄『ひと我を非情の作家と呼ぶ』	丹羽文雄	1984/12/10発行	紙
歴史007738	丹羽文雄『小説家の中の宗教』	丹羽文雄	1978/5/20発行	紙

館蔵品展Ⅲ 赤羽刀(令和7年11月1日(土)～11月30日(日))

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
美工004761	脇差 銘 石見守国助	石見守国助	江戸時代	金属
美工004762	脇差 銘 河内守国助	河内守国助	江戸時代	金属
美工004776	短刀 銘 藤正	藤正	室町末期	金属
美工004778	刀 銘 村正	村正	室町末期	金属
美工004777	刀 銘 奥州白川住宗次備前物写／於北伊勢桑名造之 文政十三年寅二月吉日	固山宗次	江戸末期	金属

館蔵品展Ⅳ 大正・昭和のモダンデザイン(令和7年12月9日(火)～令和8年3月1日(日))

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
歴史015407-01	小林かいち「蛇とグラス」	小林かいち	大正～昭和初期	紙
歴史015401-04	総封筒アルバム(聚優)「サンタクロース」のページ (12月)		大正～昭和初期	紙
歴史015401-04	総封筒アルバム(聚優)「椿」「梅」のページ (1-2月)		大正～昭和初期	紙
歴史015401-07	総封筒アルバム(聚優)表紙		大正～昭和初期	紙
歴史015401-02	総封筒アルバム(聚優) 小林かいち「街燈に人物」	小林かいち	大正～昭和初期	紙
歴史015401-03	総封筒アルバム(聚優)		大正～昭和初期	紙
歴史015401-06	総封筒アルバム(聚優)		大正～昭和初期	紙
歴史015836-010	名古屋豆本 第19集「西洋豆本」	著者: 今井田	昭和45年12月1日発行	紙
歴史015836-013	名古屋豆本 第22集「喋々々々四畳半」	著者: 柱 善三	昭和46年9月30日発行	紙
歴史015836-035	名古屋豆本 第44集「月を出る町」	著者: 春山行	昭和50年11月1日発行	紙
歴史015836-054	名古屋豆本 第63集「はじめてに草あり」	著者: 清水正	昭和55年5月10日発行	紙
歴史015836-075	名古屋豆本 第84集「青の世界」	著者: 小林定	昭和58年7月15日発行	紙
歴史017095	武井武雄 可憐版 刊行作品 一式	武井武雄	昭和38～51年	紙

館蔵品展Ⅴ 萬古焼－沼波弄山と茶－(令和8年3月10日(火)～5月6日(水・振))

区 分	資 料 名	作者名	時代	材 質
美工004346	信楽花橘写茶碗	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004540	三島写茶碗	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004342	交趾写亀香合	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004331	織部写香合	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004329	丹波写蓋置	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004337	黄瀬戸写蓋置	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004326	絵瀬戸写水指	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004328	唐津写流釉水指	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004327	赤楽草花文杓立	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004741	色絵菊花文急須・煎茶碗	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004664	色絵窓龍鳳凰文盛蓋瓶	沼波弄山	江戸	陶磁器
美工004665	青釉浮牡丹文盛蓋瓶	沼波弄山	江戸	陶磁器

2 プラネタリウム事業

1 GINGA PORT 401

博物館5階フロアを宇宙の港、銀河ポート401と位置づけ、「地球から見た宇宙」という視点だけでなく、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たなまなざしで、私たちの星である「かけがえのない地球」を見つめ直すことをコンセプトとしている。宇宙と地球環境を柱に据えたプラネタリウム事業を展開している。



- (1) コズミックギャラリーにはJAXAコーナーを設け、宇宙服のレプリカやJAXAから貸与を受けている宇宙食、ロケット打上げPR用ポスターなどを展示し、地球環境をテーマとした宇宙から見た地球の映像を映し出している。
- (2) コズミックラウンジには、旧プラネタリウム投映機を展示し、光学式投映機での星の映し方について解説するコーナーを設けている。天文ボランティアと協働で定期的にワークショップ(ガリレオ教室や天文ボランティア工房)を開催した。
- (3) プラネタリウムドームを宇宙船(コズミッククルーザー)と位置づけ、宇宙船に乗って宇宙からみた星空や宇宙の旅を楽しむことができる。1億4000万個以上の星を映し出す投映機ケイロン401を生かした星空解説を行っている。
- (4) 当館のコンセプトでもある「宇宙からみた美しい地球」や宇宙の姿を高精細な映像で映し出すために、長期保全計画に基づいた計画的なメンテナンスを行っており、令和7年度は音響機器等の修繕を実施した。機器のリニューアルから10年が経過し、機器類の劣化が顕著に表れてきている中で、適切な施設の維持管理を行っていく必要がある。

2 プラネタリウム投映事業

季節ごとに2種類の番組(ファミリー、一般)を投映した。一般番組(春)については、四日市オリジナルの番組を投映した。

特別番組では、子育て支援の一環として幼児とその保護者を対象にした幼児番組「はじめてのプラネタリウム」を投映した。またバリアフリー対応として、季節番組では字幕付き投映を期間中にファミリー、一般ともに1回ずつ行うほか、ドーム内にある「遮音室」、「ヒアリンググループ」、「ホワイエの階段昇降機」を有効に活用することができた。

<季節番組のタイムテーブル>

投映時間	10:05	11:20	13:05	14:20	15:35	<土曜限定> 18:20
木				ファミリー 番組		
火・水・金				一般番組		
土・日・祝 学校園 長期休暇期間	ファミリー 番組	ファミリー 番組	一般番組	一般番組	ファミリー 番組	一般番組

- (1) 季節番組(料金:一般550円 高・大生390円 小・中生210円 幼児無料)

投映期間	番組名	投映回数	観覧者数
春番組 令和7年 3月1日(土)	ファミリー番組「名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道」 令和7年度分	75回	5,974人
	全期間(3月1日～6月1日)	(126回)	(8,904人)

～6月1日(日) 令和7年度 54日間 (全期間 80日間)	一般番組「宇宙美術館 はるかなる宇宙望遠鏡の旅」	79回	2,178人
	令和7年度分 全期間(3月1日～6月1日)	(123回)	(3,199人)
夏番組 6月10日(火) ～8月31日(日) 73日間	ファミリー番組「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型」	143回	13,511人
	一般番組「星の降る夜に ～流星群の正体に迫る～」	123回	6,148人
秋番組 9月9日(火) ～11月30日(日) 69日間	ファミリー番組「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる! 2 チコとキョエの星空タイムトラベル 謎のラニアケア超銀河団」	79回	2,704人
	一般番組「ヒーリングアース IN JAPAN 日本の絶景と煌めく星空」	92回	3,221人
冬番組 12月9日(火) ～令和8年3月1日(日) 66日間	ファミリー番組「すみっコぐらし ひろい宇宙とオーロラのひかり」	91回	6,619人
	一般番組「スターリー スカイ 天空に舞う星座たち」	95回	2,791人
春番組 3月10日(火) ～5月31日(日) 令和7年度 19日間 (全期間 72日間)	ファミリー番組「プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて」	28回	817人
	全期間(令和8年3月10日～5月31日)	(102回)	(3,155人)
	一般番組「ORIGIN ～太陽系のはじまりを求めて～」	28回	605人
	令和7年度分 全期間(令和8年3月10日～5月31日)	(106回)	(2,889人)
合計	令和7年度	833回	44,568人

■担当者所感

○春番組

ファミリー番組「名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道」

本番組は、人気アニメ「名探偵コナン」のオリジナルストーリーを通して、「銀河鉄道の夜」の世界観や宇宙への興味を感じてもらえる内容であった。知名度の高い作品であったことから、子ども連れのファミリー層を中心に、幅広い年代の観覧者が来館した。アンケートでは、ストーリー・音楽・映像のいずれも高い評価を得ており、「映画のように迫力があり楽しかった」「プラネタリウムでしか得られない没入感があった」「子どもも大人も楽しめる内容だった」といった声が寄せられた。また、「銀河鉄道の夜を読みたくなった」「宮沢賢治の世界観を楽しめた」など、作品をきっかけに文学の世界へ関心が広がった様子もうかがえた。

今後も、人気作品の魅力を活かしながら、プラネタリウムならではの映像表現によって、子どもから大人まで楽しめる番組を放映していきたい。(天文係 平野佑弥)

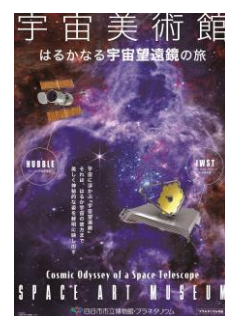


一般番組「宇宙美術館 はるかなる宇宙望遠鏡の旅」

本番組は、制作委託による四日市オリジナルの番組。宇宙望遠鏡とは何か、また宇宙望遠鏡が映し出す美しい天体、ブラックホールや銀河、はるか彼方へと続く壮大で神秘的な宇宙の姿を、謎のおじさん「明」の解説と共にめぐる番組であった。

アンケートでは、「陽気なおじさんのセリフでいくつかグッとくるものがあった。宇宙に興味がある方だけでなく、自分の進路に迷っている方にも刺さる番組だと思う。」「おじさんの天体の解説によって自分の将来を見据えるようになる若者との会話が印象に残った。」「宇宙望遠鏡の映像がすごい迫力だった。」など、宇宙望遠鏡が映し出す美しい宇宙の姿だけでなく、オリジナルのストーリーを楽しんでいただけた方も多かった。反面、「感動する番組ではなかった。」「星雲や星団などほとんど説明がなく物足りなかった。」という意見も寄せられた。

来館者のニーズを把握しながら、今後も宇宙をテーマとした内容で当館の機器の性能を十分に発揮できる番組を制作していきたい。(天文係 菅珠実)



○夏番組

ファミリー番組「ドラえもん 宇宙の模型」

本番組は、親しみやすいドラえもんキャラクターとともに、宇宙の広がりや天体のしくみを楽しく学べる内容であった。夏休み期間の投映ということもあり、子ども連れのファミリー層を中心に、祖父母を含めた三世代での観覧も多く見られた。アンケートでは、ストーリー、音楽、映像のいずれも高い評価を得ており、「子どもが喜んで」「大人も楽しめた」「宇宙をテーマにした内容が分かりやすかった」といった声が寄せられた。また、学校で学ぶ内容と結びつけて理解を深めたという感想もあり、楽しさと学びの両面を備えた番組として受け止められていたことがうかがえた。

今後も、子どもたちが親しみやすい作品を通して宇宙や天文への興味を育み、あわせて大人にも満足感のある番組を投映していきたい。(天文係 平野佑弥)



一般番組「星の降る夜に～流星群の正体に迫る～」

科学者に憧れる少年が、星の降る夜に出会った老紳士の不思議な力を借りて、流れ星と流星群の「真実」に気づいていくストーリー。流れ星の正体と、流星群のしくみについて、易しい解説と様々な角度から見た映像で理解を深めていく内容で、令和3年度の再投映番組であった。また、時間の流れと空間のスケールがダイナミックに描かれており、ドーム映像ならではの良さが感じられる作品となっている。

アンケートでは「流星群がどうして毎年見られるのか全く知らなかったので、衝撃でした。」「宇宙の科学的な内容を十分に学べてよかった。」「体が宙に浮き、宇宙に吸い込まれるかのごとく素晴らしい映像でした。」などのお声をいただいた。

「流星群」という比較的身近な天文現象を取り上げており、子どもから大人までが興味を抱きやすいテーマ設定もこの番組の魅力の一つとなっていたので、今後もこうした宇宙への魅力を感じる番組を投映していきたい。(天文係 菅珠実)



○秋番組

ファミリー番組「プラネタリアムでチョコちゃんに叱られる! 2」

チョコとキョエの星空タイムトラベル 謎のラニアケア超銀河団」

本番組は、人気キャラクターのチョコちゃんとキョエちゃんを通して、宇宙や星にまつわる疑問を楽しく学べる内容であった。親しみやすい題材でありながら、星座の変化や宇宙に関する知識にも触れており、「10 万年後の星座の変化など、大人でも十分楽しめた」といった声も見られた。アンケートでは、映像を中心に高い評価を得ており、「新しいことをたくさん知れて楽しかった」「番組も面白く勉強になった」など、学びと楽しさの両面で受け止められていたことがうかがえた。また、チョコちゃんとキョエちゃんのファンからは、プラネタリアムで作品を楽しめたことを喜ぶ声も寄せられた。

一方で、ファミリー番組としてはやや難しいと感じる意見も見られた。今後も、



親しみやすい作品を入口としながら、子どもから大人まで楽しみつつ学ぶことのできる番組を放映していきたい。(天文係 平野佑弥)

一般番組「ヒーリングアース IN JAPAN 日本の絶景と煌めく星空」

夜空に煌めく星々や日本の絶景を、高精細な本物の映像を映し出した番組であり、RADWIMPS や Vaundy などの琴線に触れる楽曲、声優・内山昂輝の心を癒やす語りが魅力的なヒーリング科学番組であった。

アンケートでは、「日本にこんな美しいところがあるのか。」「壮大な映像とそれに見合う音楽が最高でした。」「あまりのきれいに涙が出そうだった。」など好評であった。一方で、少数意見として、「今回は日本の絶景映像が中心で、銀河系の映像が少々唐突にフィーチャーされていました。宇宙中心の番組の方が、プラネタリウム好きな人には満足度が高いと思う。」というものもあった。今後も宇宙をテーマとした内容で機器の性能を十分に発揮させた番組を放映していきたい。(天文係 菅珠実)



〇冬番組

ファミリー番組「すみっコぐらし ひろい宇宙とオーロラのひかり」

主に小学生までの児童に人気のキャラクター「すみっコぐらし」が、すみっコぐらしの世界観やストーリーに沿いながら宇宙の旅をし、オーロラやその他天文現象について紹介するという番組であった。

0～12 歳くらいまでの子どもを連れたファミリー層が多く、アンケートでは「よい」が 87%、「ふつう」が 11%と非常に多くの方にご好評いただいた。来館者の年齢層が低いことを鑑み、星空解説では従来の星空解説に加え、動物の星座は鳴き声の音声を流すなどの楽しんでもらえる工夫を講じた。

またアンケートには 30～40 代の回答が一番多くみられたが、付き添いの親世代の回答だと考えられる。番組感想でも親が子どもの反応を記入しているアンケートが多くみられた。「子どもが興味を持つ番組だとプラネタリウムに行くきっかけづくりになるため続けてほしい」という言葉があった反面、「子どもの声が気になった」や「椅子の上に立っている子どもがいた」「椅子をけられた」等の声も多く見られた。そのため、投映前の注意喚起や投映中の来館者への声掛けを徹底していくことで、多様な番組により客層の幅を広げつつ、どの層の来館者にも楽しんでもらえる場を提供できると考える。(天文係 大池駿和)



一般番組「スターリースカイ 天空に舞う星座たち」

本番組は星座の神話を映像で分かりやすく、各季節ごとに話し進めていくという番組であった。全天周スクリーンをふんだんに使ったダイナミックな映像かつ落ち着いた雰囲気の話り口調で、アンケートでは「よい」が 86%、「ふつう」が 12%と非常に多くの方にご好評いただいた。

ただ、全天周映像に不慣れな方も多く、「映像酔いをした」という声が相次いだ。そのため、急遽チケット売り場や投映前のアナウンスで映像酔いしやすいという注意喚起をし、対策方法を周知することで安心してご観覧いただいていたと考える。今後は事前に映像を詳しくチェックすることでリスクヘッジに努めていきたい。

星空解説では多くの方に満足していただいているが、一部の回では解説員の語句の言い間違いに対し、指摘の旨の意見もあった。解説員一同この意見を真摯に受け止め、今一度解説内容を見直し、今後の研鑽を重ねていきたい。(天文係 大池駿和)



(2) 特別番組

① 幼児番組 はじめてのプラネタリウム (料金：季節番組と同様 投映日時※)

月 日	番組名	投映回数	観覧者数
4月20日(日)、4月29日(火・祝)、5月3日(土・祝)、 5月4日(日・祝)、5月5日(月・祝)、5月18日(日)、 6月15日(日)、7月20日(日)、7月21日(月・祝)、 8月11日(月・祝)、8月17日(日)、9月21日(日)、 9月23日(火・祝)、10月13日(月・祝)、10月19日(日)、 11月3日(月・祝)、11月16日(日)、11月23日(日・祝)、 12月21日(日)、1月12日(月・祝)、1月18日(日)、 2月11日(水・祝)、2月15日(日)、2月23日(月・祝)、 3月15日(日)、3月20日(金・祝)	前半 導入番組 星座の森 の動物たち 後半 配給 しまじろうと おつきさまのひみつ	38 回	3,409 人

※三重県の日(第3日曜日)のベビーカーDAYにあわせて実施。

ベビーカーDAYは10:05の回と11:20の回の2回投映。

祝日は10:05の回の1回投映。

※投映回のファミリー番組は中止。

※9月15日(月・祝)は臨時休館。

② 環境番組 (料金：無料 投映日時：4の付く日曜・祝日・振替休日 14:20～15:15)

月 日	番組名	投映回数	観覧者数
5月4日(日・祝)、8月24日(日)、11月24日(月・ 振)、12月14日(日)、令和8年1月4日(日)	時空街道ツアー e x 「宇宙から見た地球」	5 回	254 人

※時空街道ツアー e xの参加者向けの当館オリジナル番組。投映回の一般番組は中止。

※時空街道ツアー e xの参加者枠を20人とし、それ以外は当日観覧者枠。

※9月14日(日)は臨時休館。

(3) 学習投映

①天体学習プログラム (保育園・幼稚園、こども園、小・中学校、特別支援学校等の団体利用)

平日①9:50～10:35、②11:00～11:45、③13:15～14:00

季節の星座を中心に年齢・学年に応じた、生解説による双方向型の学習用プラネタリウム投映

対象	テーマ	校 園 数	観覧者数
保育園・幼稚園・ こども園	4 月 ～ 5 月 春の動物の星座のお話	74 園	2,796 人
	6 月 ～ 7 月 七夕物語		
	9 月 ～ 10 月 お月さまのお話		
	11 月 ～ 12 月 アンドロメダ姫物語		
	1 月 ～ 3 月 冬の星とオリオン座物語		
小学校	通年 方位の確認・太陽の一日の動き 月の動き・北斗七星から北極星探し 星座早見盤の使い方・星の動き 季節の星空解説・星座クイズ	25 校	1,749 人
	1 月 ～ 2 月 自然とともに生きた昭和の暮らし (小3)		

中学校	通年	太陽と星空解説 太陽：方角の確認・天の子午線 標準時子午線 経度の違いによる南中する時刻 春分、秋分、夏至、冬至の南中高度 季節による南中高度の差 季節による昼夜の長さの比較 太陽の1日の動き 季節による日の入りの時刻と位置の 違い等 星空解説：冬の星空・星の日周運動 東西南北の星の動き 観測値による星の動きの違い・日の出等	21 校	2,426 人
特別支援学校 ・学級	通年	季節の星空と宇宙 ケンタの星さがし ポワンとフーニャン宇宙調査隊	9 校	135 人
その他の学校など	通年	季節の星空と宇宙	6 団体	300 人
合計		放映回数 134 回	135 校	7,406 人

②環境学習プログラム(小・中学校などの団体)

平日①9:50～10:20、②11:00～11:30、③13:15～13:45

四日市公害と環境未来館との連携によるプログラム

放映期間	テーマ	校数	観覧者数
通年	1. アースメッセージ ～かけがえのない惑星(ほし)へ～ 2. アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語	6 校	313 人
合計	放映回数 7 回	6 校	313 人

※番組は1、2を学校の希望により選択する。

※未来館との連携による市内中学3年生の学校団体受け入れは、カリキュラムに合わせた45分間の天体学習プログラムも選択できる。

③学習支援展示学習プログラム(小・中学校などの団体)

平日①9:50～10:20、②11:00～11:30、③13:15～13:45

企画展(学習支援展示)に関する学習プログラム

放映期間	テーマ	校数	観覧者数
6月～7月 1月～2月	戦時下で輝いた星 自然とともに生きた昭和の暮らし	1 校	139 人
合計	放映回数 1 回	1 校	139 人

(4) プラネタリウムイベント

① 宇宙塾(時間:13:05～14:45)

月日	イベント名	講師	観覧者数
7月12日(土)	生活の中で役立っている宇宙開発技術	佐々木遊太(JAXA 広報部 企画・普及課)	46 人
3月21日(土)	重力波望遠鏡で解き明かす宇宙の謎	牛場崇文(東京大学宇宙線研究所 重力波観測研究施設)	90 人
	合計		136 人

② 特別企画

月日	イベント名	時間	講師	観覧者数
6月21日(土)	「学習投映」特別公開(小学校版)	15:35～16:30	菅珠実(天文係職員)	45人
11月8日(土)	「学習投映」特別公開(中学校版)	18:20～19:15	平野佑弥(天文係学芸員)	5人
11月23日(日・祝)	熟睡プラ寝たリウム	15:35～16:30	脇谷天音(天文係職員)	128人
合計				178人

(5) その他投映

研修・視察等に関する投映	計 160 人
四日市市役所新採研修	50 人
地球環境塾	18 人
郡市教研究 中学校教科別部会理科部会研修	17 人
四日市ロータリークラブ	75 人

3 天文教育普及事業

(1) 移動天文車「きらら号」事業(料金:市内は無料)

天文ボランティアの協力を得て観望会を実施。

① 派遣事業

要請により市内各地へ出動して観望会を行った。天候不良による観望会中止時で希望する団体には、天文教室を実施した。

ボランティア参加数 93 人(延べ人数)



予定	実施	天文教室	中止	参加者合計
27 回	21 回(1,740 人)	3 回(52 人)	3 回	1,792 人

② 主催事業

季節に見頃の惑星などの観望会を、市民公園で実施した。対象は子どもから大人まで。

ボランティア参加数 68 人(延べ人数)

予定	実施	中止	参加者合計
11 回	8 回	3 回	1,007 人

月日	時間	イベント名	参加者数
4月26日(土)	13:00～14:30	太陽を見よう	140 人
5月24日(土)	20:00～21:30	春の二重星を見よう	天候不良のため中止
6月28日(土)	20:00～21:30	アークトゥルスを見よう	110 人
7月26日(土)	20:00～21:30	アンタレスを見よう	112 人
9月27日(土)	18:30～20:00	夏の三大角を見よう	109 人
10月25日(土)	18:30～20:00	土星を見よう	天候不良のため中止
11月22日(土)	17:30～19:00	土星を見よう	141 人
令和8年1月24日(土)	18:00～19:30	月、土星、木星を見よう	112 人
2月28日(土)	18:00～19:30	月、木星を見よう	155 人

3 月 3 日(火)	19:30～21:00	皆既月食を見よう	天候不良のため中止
3 月 28 日(土)	18:30～20:00	月、木星を見よう	128 人

(2) 公開観望会

移動天文車「きらら号」が出動しない観望会

月日	時間	イベント名	場所	参加者数
8 月 12 日(火)	19:30～21:00	夏の星空観望会	伊坂ダム	天候不良のため 中止
12 月 13 日(土)	19:00～20:30	ふたご座流星群観望会		天候不良のため 中止
合計				0 人

(3) 学校連携事業

市内中学生を対象に、プラネタリウム一般番組を学習として活用できる学習参加券(無料観覧券)の配付を希望する一学年のみ、かつ夏休み期間のみの利用に限って配布した。希望校:全校(22校)

校数	配付枚数	利用枚数	利用率
22 校	2,535 枚	1,445 枚	57%

(4) ガリレオ教室

場所:コズミックラウンジ

ボランティア参加数 89 人(延べ人数)

月日	内容	参加者数
4 月 13 日(日)	惑星たちが大集合!!	28 人
5 月 11 日(日)	太陽の通り道	50 人
7 月 13 日(日)	夏の星座たち	76 人
8 月 10 日(日)	流星群	73 人
9 月 21 日(日)	月のひみつ	58 人
10 月 12 日(日)	土星の環(わ)が消える?!	48 人
11 月 9 日(日)	望遠鏡のしくみ	76 人
12 月 14 日(日)	流星群	45 人
令和 8 年 1 月 11 日(日)	暦について	25 人
2 月 8 日(日)	天体食	52 人
合計		531 人

※6 月、3 月は整備休館期間中のため開催なし

(5) 天文ボランティア支援事業

天文ボランティアが主体的に実施する事業を支援した。

① 天文ボランティア学習会(全 12 回 参加者 175 人)

② 天文ボランティア工房(全 11 回 参加者 525 人)

ボランティア参加数 88 人

3 ミュージアムショップ

来館者へのサービス提供の一環として開店しており、令和3年度からは直営から外部委託による運営方法へ変更した。委託業者はアクティオ株式会社。

ミュージアムショップは、当館だけでなく、四日市公害と環境未来館を合わせた「そらんぼ四日市」としての普及活動としての側面を持ち、展覧会図録や研究紀要、専門書、関連グッズ、そらんぼ四日市オリジナル商品などを販売する。また、展覧会やプラネタリウムの番組内容に合わせた商品を選定し、その会期ごとに販売を行う。

令和7年度は、プラネタリウムの季節番組「名探偵コナン」「すみっこぐらし」などの関連商品のほか、特別展「かがくいひろしの世界展」「手塚治虫展」において、展覧会オリジナル商品を数多く販売した結果、直近10年で過去最高の売上高を記録した。また、令和8年2月より、四日市公害と環境未来館が制作した中村征夫氏の写真を用いたポストカードの販売を開始した。



来店者数と販売状況

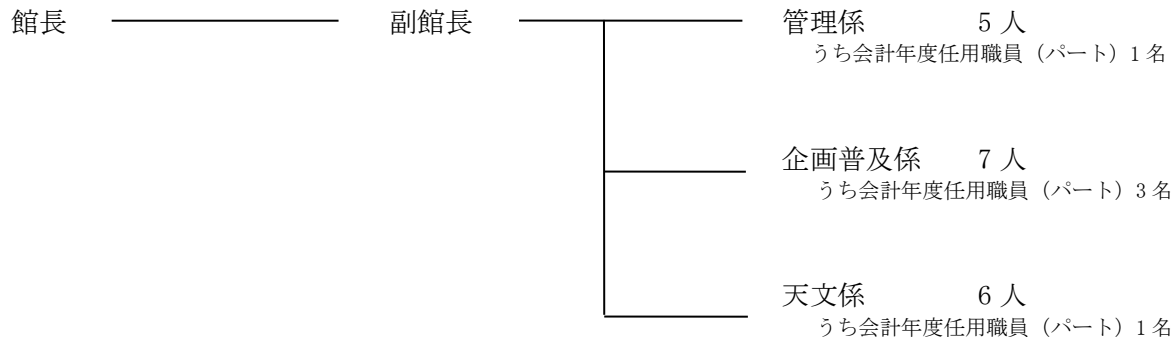
年度	来店者数	購買人数	販売総額	購買単価
平成28年度	一人	5,889人	5,765千円	979円
平成29年度	28,842人	5,117人	8,469千円	1,655円
平成30年度	32,304人	4,929人	6,007千円	1,219円
令和元年度	30,110人	6,080人	9,794千円	1,461円
令和2年度	15,574人	3,323人	4,424千円	1,306円
令和3年度	22,263人	5,013人	8,514千円	1,698円
令和4年度	23,037人	5,565人	11,062千円	1,988円
令和5年度	31,190人	8,730人	20,750千円	2,377円
令和6年度	20,964人	4,504人	6,206千円	1,378円
令和7年度	32,735人	14,199人	31,287千円	2,203円

Ⅱ 管理・運営

1 組織

(1) 職員構成

(令和8年3月31日現在)



(2) 事務分掌

[管理係]

- (1) 博物館事業の調整及び運営に関すること。
- (2) 調査、統計及び報告に関すること。
- (3) 博物館協議会に関すること。
- (4) 施設の維持管理及び館内の秩序維持に関すること。
- (5) 施設の使用許可に関すること。
- (6) 観覧券の発売及び入館者の受付、案内等に関すること。
- (7) 館の庶務に関すること。

[企画普及係]

- (1) 特別展示の企画及び開催に関すること。
- (2) 常設展示及び特別展示の利用者への説明、指導等に関すること。
- (3) 博物館資料の収集、保管、展示、貸出及び利用に関すること。
- (4) 博物館資料の調査研究及び報告書の刊行頒布等に関すること。
- (5) 講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- (6) 博物館資料の購入、受贈及び受託に関すること。
- (7) 博物館の広報に関すること。

[天文係]

- (1) プラネタリウムの映写及び天体観測に関すること。
- (2) 天文知識の普及及び啓発に関すること。
- (3) 天文資料の収集、保管、展示及び調査研究に関すること。
- (4) 移動天文車に関すること。

2 決算

令和7年度

[歳入]

(単位:円)

科目	摘要	収入額
使用料及び手数料	使用料、手数料	35,379,880
財産収入	財産運用収入、財産売払収入	977,162

諸収入	雑入	867,640
計		37,224,682

[歳出]

(単位:円)

科目	摘要	支出額
委員報酬	博物館協議会委員報酬	229,600
自主事業費	調査研究事業費、特別展等開催費、資料収集保存事業費、教育普及活動事業費、プラネタリウム投映事業費、天文教育普及活動事業費	67,474,840
施設管理運営費	施設設備維持管理費、運営事業費、展示設備維持管理費、プラネタリウム維持管理費、移動天文車維持管理費、楠歴史民俗資料館管理運営費	199,213,554
負担金	日本博物館協会等負担金	54,000
計		266,971,994

3 博物館協議会

四日市市立博物館協議会は、博物館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法及び四日市市立博物館条例の規定に基づき設置されるもので、平成5年6月1日付けで委員17人(定数20人以内)を委嘱(任期2年)して発足した。令和7年度委員は下表のとおりである。なお、令和7年度協議会は3回開催した。

- 第1回 8月6日(水) 13:00~15:00
議題:①令和7年4月~7月事業実施状況について
②令和8年度の事業について
③答申書に基づいた今後の方針について
- 第2回 12月25日(木) 9:30~11:30
議題:①令和7年12月までの事業実施状況について
②四日市市立博物館使命の見直しについて
- 第3回 令和8年3月18日(水) 9:30~11:30
議題:①令和7年度の事業実施状況について
②令和8年度の事業実施計画について
③四日市市立博物館使命の見直しと今後の方針について

[四日市市立博物館協議会委員]

令和8年3月31日現在

	氏名	職名
学校教育関係	式井 雅子	四日市市小学校長会代表
	澤井 広美	四日市市中学校長会代表
	東出 なるみ	四日市市公立園長会代表
	相馬 哲	私立学校代表
社会教育関係	諸戸 靖	四日市市自治会連合会代表
	竹下 すま子	四日市市社会教育委員代表

	山口 陽子	四日市市立博物館ボランティアの会代表(博物館)
	伊藤 敏彦	四日市市立博物館ボランティアの会代表(天文)
学識経験者	鬼頭 浩文	四日市市文化財保護審議会委員、四日市大学副学長
	播磨 良紀	中京大学名誉教授
	伊藤 信成	三重大学教育学部教授
	北原 政子	元名古屋科学館天文主幹
	秦 昌弘	学校法人皇學館常務理事
家庭教育の向上に資する活動を行う者	吉久 弘規	四日市市PTA連絡協議会代表

4 施設の利用

当館の施設の利用については、四日市市立博物館条例第5条により、特別展示室及び講座室を博物館の設置目的に反せず、博物館事業に支障のない範囲において、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するものについて利用を許可している。令和7年度実績は、以下のとおりである。なお、四日市市及び四日市市教育委員会の利用実績については記載を省略している。

[特別展示室]

- ・第60回三泗小・中学校書写展覧会
12月11日(木)～12月14日(日) 三泗教育発表振興会
- ・第46回墨友会書作展
令和8年3月26日(木)～3月29日(日) 墨友会

[講座室]

- ・まちみらいフェスタ まちへの愛着を
8月31日(日) 一般社団法人 四日市青年会議所
- ・関西で怪談会
10月26日(日) キジネコレコード

5 関連出版物の発行

- ・令和6年度四日市市立博物館年報 第32号 令和7年7月27日発行(当館HPで公開)

6 利用状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日の利用状況は以下のとおり。

※大雨に伴う館内設備点検による臨時休館 9月13日～9月15日

(1) 常設展観覧者数(無料)

月	開館日数	小中		園児		他団体		引率者	小中以下	大人・高大	観覧者計
		校	人数	園	人数	数	人数				
4	26	0	0	0	0	4	81	24	967	2,121	3,193
5	27	13	984	2	60	5	136	102	1,479	3,492	6,253
6	19	10	608	4	79	2	70	69	693	1,798	3,317
7	27	2	92	11	236	6	153	101	1,507	2,836	4,925
8	28	0	0	0	0	10	565	76	3,507	5,169	9,317
9	16	11	772	1	16	12	669	94	453	1,135	3,139
10	27	28	1,409	1	36	7	294	161	638	2,148	4,686
11	26	27	1,512	1	10	9	333	131	565	2,500	5,051
12	15	8	276	1	26	5	71	39	502	1,228	2,142
1	26	10	674	0	0	3	172	52	891	2,022	3,811
2	24	7	267	3	39	6	157	57	934	2,117	3,571
3	20	4	216	1	39	2	61	31	758	1,832	2,937
合計	281	120	6,810	25	541	71	2,762	937	12,894	28,398	52,342

(2) 特別展観覧者数

	会 期	有料観覧者									無料観覧者									観 覧 者 合 計	
		個人		団体割引 (2割引)		減免 (5割引)		減免 (5割引) の団体		有料 観覧者計	小 中		園 児		他 団体		引 率 者	小 中 以 下	招 待 券		無料観覧 者計
		一般	高大	一般	高大	一般	高大	一般	高大		校	人数	園	人数	数	人数					
①	44	13,829	288	59	2	619	17	10	0	14,824	2	11	1	20	1	9	18	7,618	2,020	9,696	24,520
②	57	4,658	187	63	1	499	7	3	1	5,419	8	253	0	0	0	0	44	1,052	1,685	3,034	8,453
③	51	1,866	67	43	3	183	5	8	0	2,175	31	1,852	2	24	3	172	233	1,054	514	3,849	6,024
合計	152	20,353	542	165	6	1,301	29	21	1	22,418	41	2,116	3	44	4	181	295	9,724	4,219	16,579	38,997

①日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展

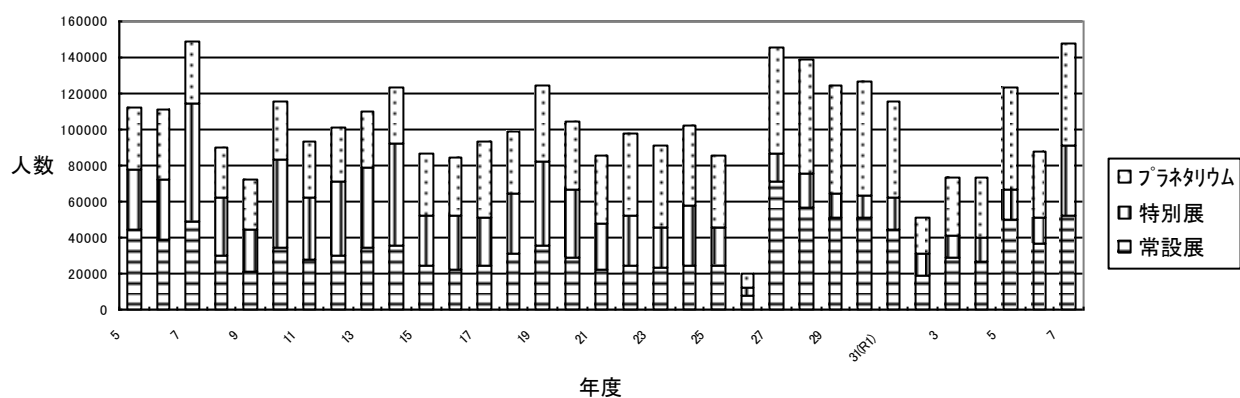
②手塚治虫展

③昭和の暮らし 昭和のまつり

(3) プラネタリウム観覧者数

月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
投映回数			82	88	74	107	146	50	86	98	45	90	82	71	1,019
有料観覧者	個人	一般	1,465	2,329	1,530	2,380	4,224	816	1,259	1,163	856	1,555	1,539	907	20,023
		高大	98	117	53	163	279	59	65	98	47	84	87	124	1,274
		小中	812	1,020	777	1,385	2,765	255	311	301	383	737	631	388	9,765
	(2割引)	一般	30	47	50	71	118	27	40	70	27	45	59	48	632
		高大	0	1	0	4	1	1	1	1	3	0	0	1	13
		小中	18	10	127	138	440	89	14	282	7	13	21	211	1,370
	(5割引)	一般	93	142	89	126	166	54	102	73	40	64	102	54	1,105
		高大	5	12	2	18	12	2	6	3	1	0	4	6	71
		小中	24	19	22	58	71	14	19	9	11	15	29	29	320
	(5割引)	一般	4	2	17	18	10	3	9	24	4	11	3	6	111
		高大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		小中	3	1	17	15	9	2	9	1	0	4	3	4	68
有料合計			2,552	3,700	2,685	4,377	8,095	1,322	1,835	2,025	1,379	2,528	2,478	1,778	34,754
無料観覧者	小中	校	0	4	3	0	0	9	10	11	1	6	6	2	52
		人数	0	460	179	0	0	736	874	614	157	459	188	7	3,674
	園児	園	0	7	26	22	0	1	3	4	2	0	9	2	76
		人数	0	273	1,004	664	0	16	158	75	48	0	186	58	2,482
	他団体	校	0	1	1	2	0	0	2	0	0	2	1	1	10
		人数	0	30	37	68	0	0	104	0	0	140	29	34	442
	引率者		0	61	139	89	17	52	86	83	15	30	74	29	675
	幼児		500	771	612	996	1,637	285	306	307	411	750	741	437	7,753
	招待券		365	568	297	975	1,918	139	190	790	208	351	786	196	6,783
無料合計			865	2,163	2,268	2,792	3,572	1,228	1,718	1,869	839	1,730	2,004	761	21,809
月合計			3,417	5,863	4,953	7,169	11,667	2,550	3,553	3,894	2,218	4,258	4,482	2,539	56,563

(4) 観覧者数推移



年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13
常設展	44,996	38,881	48,481	30,359	21,142	34,411	28,052	29,966	34,758
特別展	32,961	33,209	65,681	31,700	23,804	48,442	33,733	41,432	44,082
プラネタリウム	34,515	38,966	34,674	28,068	27,661	32,937	31,234	29,317	31,011
合計	112,472	111,056	148,836	90,127	72,607	115,790	93,019	100,715	109,851
累計	112,472	223,528	372,364	462,491	535,098	650,888	743,907	844,622	954,473
年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22
常設展	36,058	24,093	22,626	24,171	30,978	36,001	28,781	22,399	24,479
特別展	56,309	28,413	29,498	26,940	33,098	45,980	38,347	24,956	27,903
プラネタリウム	30,689	34,591	32,333	42,519	35,264	41,926	36,900	38,538	45,406
合計	123,056	87,097	84,457	93,630	99,340	123,907	104,028	85,893	97,788
累計	1,077,529	1,164,626	1,249,083	1,342,713	1,442,053	1,565,960	1,669,988	1,755,881	1,853,669
年度	23	24	25	26	27	28	29	30	31 (元)
常設展	23,859	24,522	24,579	7,355	71,143	56,454	50,595	50,689	44,816
特別展	22,152	32,723	20,641	4,533	15,181	18,800	13,735	13,027	17,019
プラネタリウム	45,215	45,293	40,876	7,649	59,195	63,310	60,068	63,389	54,079
合計	91,226	102,538	86,096	19,537	145,519	138,564	124,398	127,105	115,914
累計	1,944,895	2,047,433	2,133,529	2,153,066	2,298,585	2,437,149	2,561,547	2,688,652	2,804,566
年度	2	3	4	5	6	7			
常設展	18,528	29,357	26,924	50,427	36,997	52,342			
特別展	13,044	12,212	13,514	16,506	14,023	38,997			
プラネタリウム	19,457	31,344	32,590	55,966	37,751	56,563			
合計	51,029	72,913	73,028	122,899	88,771	147,902			
累計	2,855,595	2,928,508	3,001,536	3,124,435	3,213,206	3,361,108			

8 関係法規

四日市市立博物館条例

平成 5 年 3 月 30 日条例第 16 号改正

平成 9 年 3 月 27 日条例第 3 号

平成 12 年 3 月 29 日条例第 44 号

平成 16 年 12 月 28 日条例第 55 号

平成 17 年 3 月 28 日条例第 22 号

平成 18 年 10 月 5 日条例第 45 号

平成 21 年 1 月 23 日条例第 1 号

平成 25 年 12 月 27 日条例第 66 号

平成 26 年 12 月 22 日条例第 42 号

平成 31 年 3 月 25 日条例第 3 号

令和 5 年 3 月 30 日条例第 16 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 本市は、自然科学及び人文科学に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、プラネタリウムによる天体運行等の映写を行い、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、四日市市立博物館(以下「博物館」という。)を四日市市安島一丁目 3 番 16 号に設置する。

(事業)

第 3 条 博物館は、前条の設置目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、美術工芸、天文等に関する実物、複製、複写、模型、図書、図表、写真、フィルム、レコード等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及び利用に供すること。
 - (2) 博物館資料の利用者に対する説明、助言及び指導に関すること。
 - (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。
 - (4) 博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究に関すること。
 - (5) 博物館資料に関する解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
 - (6) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。
 - (7) 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
 - (8) 他の博物館、図書館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関すること。
 - (9) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天体観測の指導に関すること。
 - (10) その他必要な事業
- 一部改正〔平成 21 年条例 1 号〕

(観覧料)

第 4 条 博物館特別展示を観覧しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める観覧料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、心身障害者で、受付において身体障害者手帳、療育手帳又はこれらに代わるものを提示したものの観覧料の額は、別表第 2 に定める額とする。

一部改正〔平成 16 年条例 55 号・18 年 45 号〕

(特別展示室等の使用)

第 5 条 四日市市教育委員会(以下「委員会」という。)は、第 2 条の設置目的に反せず、第 3 条の事業に支障のない範囲内において、展示発表等のため、博物館の特別展示室、講座室(以下「特別展示室等」という。)の使用を許可することができる。

- 2 前項の規定により、特別展示室等を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。
- 3 前項の許可を受けた者は、別表第 3 に定める使用料を規則で定める期限までに納付しなければならない。

一部改正〔平成 16 年条例 55 号・17 年 22 号・26 年 42 号〕

(特別利用の許可等)

第 6 条 博物館資料の熟覧、模写、模造、撮影等をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、2,200 円の範囲内において規則に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 16 年条例 55 号・25 年 66 号〕

(館外貸出し)

第 6 条の 2 博物館資料は、次の各号のいずれかに該当するときは、館外への貸出しをしない。ただし、委員会は、他の博物館、図書館、学校等適当と認めたものについて、博物館資料の館外貸出しを許可することができる。

- (1) 館外貸出しによって博物館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員が認めたとき。
- (2) 現に博物館資料が展示されているとき。
- (3) その他委員会が博物館資料の館外貸出しをすることを不相当と認めたとき。

(入館等の制限)

第 7 条 委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、博物館への入館を拒否し、若しくは退館を命じ、又は第 5 条第 2 項及び第 6 条第 1 項の許可をしない。

- (1) 公安、風俗その他公益を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設、附属設備等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) その他委員会において管理上支障があると認めたとき。

(観覧料、使用料及び手数料の減免)

第 8 条 市長は、特に必要があると認めたときは、観覧料、使用料及び手数料を減額又は免除することができる。

(観覧料、使用料及び手数料の還付)

第 9 条 既納の観覧料、使用料及び手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(権利の譲渡等の禁止)

第 10 条 第 5 条第 2 項、第 6 条第 1 項及び第 6 条の 2 の規定により許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 11 条 委員会は、使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、許可の条件を変更し、又は使用若しくは利用を停止し、若しくは許可を取り消すことができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 許可の条件に違反したとき。

(特別の設備等)

第 12 条 使用者は、既存の設備を変更し、又は特別の設備を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

- 第 13 条 使用者は、その使用若しくは利用を終了したとき又は第 11 条の規定により使用若しくは利用を停止され、若しくは許可を取り消されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。
- 2 使用者が前項の義務を履行しないときは、委員会においてこれを執行し、使用者からその費用を徴収する。

(損害賠償)

第 14 条 使用者は、使用若しくは利用中に建物、附属設備等を損傷又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(博物館協議会)

- 第 15 条 博物館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 23 条第 1 項の規定に基づき、博物館に四日市市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。
- 2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。
 - 3 協議会の委員の定数は、20 人以内とする。
 - 4 協議会の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 一部改正〔平成 21 年条例 1 号〕

(委任)

第 16 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

一部改正〔平成 16 年条例 55 号〕

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条第 1 号(博物館資料の展示及び利用に供する部分に限る。)、第 2 号及び第 8 号並びに第 4 条から第 14 条までの規定は規則で定める日から(平成 5 年 6 月四日市市規則第 33 号で、同 5 年 11 月 1 日から施行)、次項の規定は平成 5 年 9 月 1 日から施行する。
- (四日市市立郷土資料庫条例の廃止)
- 2 四日市市立郷土資料庫条例(昭和 45 年四日市市条例第 38 号)は、廃止する。
- 附 則(平成 9 年 3 月 27 日条例第 3 号)

この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 12 年 3 月 29 日条例第 44 号)

この条例は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 16 年 12 月 28 日条例第 55 号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 17 年 2 月 7 日から施行する。

(経過措置)

- 7 改正後の四日市市立博物館条例第 4 条、別表第 1 及び別表第 2 の規定は平成 17 年 4 月 1 日以後の観覧から、第 5 条、第 6 条及び別表第 3 の規定は平成 17 年 4 月 1 日以降の使用許可申請に係るものから適用する。

附 則(平成 17 年 3 月 28 日条例第 22 号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 17 年 4 月 1 日(以下「施行日」という。)から施行する。
- (経過措置)
- 2 改正後の四日市市立博物館条例別表第 3 備考の規定は、施行日以後の申請にかかるものから適用し、同日前の申請にかかるものについては、なお従前の例による。

附 則(平成 18 年 10 月 5 日条例第 45 号)

この条例は、平成 18 年 12 月 9 日から施行する。

附 則(平成 21 年 1 月 23 日条例第 1 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成 25 年 12 月 27 日条例第 66 号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- (経過措置)
- 2 改正後の四日市市立博物館条例(以下「新条例」という。)第 6 条の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に行う博物館資料の熟覧、模写、模造、撮影等の許可(以下「特別利用許可」という。)に係る手数料から適用し、同日前に行う特別利用許可に係る手数料については、なお、従前の例による。
 - 3 新条例別表第 1 及び別表第 2 の規定は、施行日以後に博物館特別展示又はプラネタリウムの映写を観覧する場合の観覧料から適用し、同日前に博物館特別展示又はプラネタリウムの映写を観覧する場合の観覧料については、なお従前の例による。
 - 4 新条例別表第 3 の規定は、施行日以後に行う四日市市立博物館の特別展示室、講座室及び市民ギャラリー(以下「特別展示室等」という。)の使用許可に係る使用料から適用し、同日前に行う特別展示室等の使用許可に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年 12 月 22 日条例第 1 号)

この条例は、平成 27 年 3 月 21 日から施行する。

附 則(令和 5 年月 22 日条例第 1 号)

この条例は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1(第4条関係)

区分	博物館特別展示 1人1回につき	プラネタリウム 1人1回につき	プラネタリウム 特別番組1人 1回につき
一般	2,200円の範囲 内で委員会が定 める額	550円	2,200円の範囲 内で委員会が定 める額
大学生・ 高校生		390円	
中学生・ 小学生	無料	210円	

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上の者(「大学生・高校生」及び
中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)を
いう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、
高等専門学校、専修学校、各種学校その他これらに準
ずる学校に在学する者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、小学校その他これら
に準ずる学校に在学する者をいう。
- 4 小学校就学までの者は、無料とする。
- 5 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100
分の80の額とする。この場合において、その額に10円
未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものと
する。

一部改正〔平成16年条例55号・18年45号・25年66号〕

別表第2(第4条関係)

区分	博物館特別展示 1人1回につき	プラネタリウム 1人1回につき	プラネタリウム 特別番組1人 1回につき
一般	1,100円の範囲 内で委員会が定 める額	280円	1,100円の範囲 内で委員会が定 める額
大学生・高 校生		200円	
中学生・小 学生	無料	110円	

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上の者(「大学生・高校生」及び
中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)を
いう。
 - 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、
高等専門学校、専修学校、各種学校その他これらに準
ずる学校に在学する者をいう。
 - 3 「中学生・小学生」とは、中学校、小学校その他これら
に準ずる学校に在学する者をいう。
 - 4 小学校就学までの者は、無料とする。
 - 5 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100
分の80の額とする。この場合において、その額に10円
未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものと
する。
- 追加〔平成16年条例55号〕、一部改正〔平成18年条
例45号・25年66号〕

別表第3(第5条関係)

区分	午前	午後	全日
	午前9時30分 から正午まで	午後1時から午 後5時まで	午前9時30分 から午後5時 まで
特別展示室	—	—	33,000円
講座室	8,800円	13,200円	22,000円

備考 使用者が観覧料、受講料その他これらに類するもの
を徴収する場合は、上記の金額に100分の50を乗じて得
た額を加算する。

一部改正〔平成16年条例55号・17年22号・25年66号
26年42号〕

四日市市立博物館条例施行規則

平成5年3月31日教委規則第5号改正

平成9年3月28日教委規則第9号

平成11年3月11日教委規則第4号

平成12年3月27日教委規則第7号

平成14年12月27日教委規則第11号

平成17年2月3日教委規則第31号

平成26年1月14日教委規則第5号

平成27年1月14日教委規則第2号

平成31年3月28日条例第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、四日市市立博物館条例(平成5年四日市
市条例第16号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、
条例の施行について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 四日市市立博物館(以下「博物館」という。)の開館時間
は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、四日市市
教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認め
たときは、これを変更することができる。
一部改正〔平成17年教委規則31号〕

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会
が特に必要があると認めたときは、これを変更し、又は臨時に
休館することができる。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭
和23年法律第178号)に規定する休日にあたるときは、そ
の翌日とする。

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

一部改正〔平成14年教委規則11号〕

(観覧の手続)

第4条 博物館資料の展示会場に入場しようとする者及びプラ
ネタリウムの映写を観覧しようとする者は、観覧料の納入の際
に観覧券の交付を受け、展示室及びプラネタリウム室の入口
においてこれを係員に提示又は提出しなければならない。

(使用許可の申請)

第5条 条例第5条第2項の規定により、特別展示室等の使用
の許可を受けようとする者は、四日市市立博物館使用許可申
請書(第1号様式。以下「申請書」という。)により委員会に申請
しなければならない。

- 2 前項の申請の受付は、使用しようとする日(引き続き2日以上使用しようとする場合は、その最初の日をいう。以下「使用日」という。)の属する月の初日前6月からとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、前項に定める期間前に受付できるものとする。
 - (1) 四日市市又は委員会が行う事業又は主催する行事に使用するとき。
 - (2) その他委員会が特に必要があると認めたとき。
- 4 第1項に規定する申請書の受付時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、休館日の受付は行わない。

(使用の許可)

- 第6条 委員会は、前条第1項の使用許可の申請について適当と認めたときは、使用の許可を決定し、四日市市立博物館使用許可書(第2号様式。以下「許可書」という。)を申請者に交付するものとする。
- 2 博物館の使用について許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、博物館使用の際に、前項の許可書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(使用の変更及び取消し)

- 第7条 使用者は、許可書に記載された事項を変更し、又は施設の使用を取り消そうとするときは、四日市市立博物館使用変更(取消)許可申請書(第3号様式)に許可書を添えて委員会に提出しなければならない。
- 2 委員会は、前項の規定により使用の変更又は取消しを許可したときは、四日市市立博物館使用変更(取消)許可書(第4号様式。以下「変更(取消)許可書」という。)を申請者に交付するものとする。
- 一部改正〔平成17年教委規則31号〕

(附属設備の名称及び使用料の額)

- 第8条 博物館の附属設備の使用料の額は、別表第1に定める額とする。
- 一部改正〔平成17年教委規則31号〕

(使用料の納付)

- 第9条 使用者は、使用の許可と同時に使用料を納付しなければならない。
- 2 官公署が使用する場合にあっては、前項の規定にかかわらず、別に納付期限を定めることができるものとする。

(観覧料の減免)

- 第10条 条例第8条の規定に基づく観覧料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。
- (1) 四日市市及び三重郡に所在する学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する小学校、中学校の児童、生徒が学校教育の一環として教職員に引率されてプラネタリウム及び特別展示を観覧するとき。10割
 - (2) その他委員会が特別の事由があると認めたとき。その都度委員会が定める割合
- 2 前項の場合において、減額後の額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。
 - 3 第1項第1号に定める観覧料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館観覧料減免申請書(第5号様式)に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。
- 一部改正〔平成17年教委規則31号・26年5号〕

(優待券等)

- 第11条 委員会が特に必要と認めたときは、優待券、招待券、特別展示前売観覧券及び特別番組前売観覧券を発行することができる。

(使用料の還付)

第12条 条例第9条ただし書の規定により使用料を還付する場合及び還付する額は、次に掲げるとおりとする。

還付する場合	還付する額
ア 災害等特別の事由により、使用者の責めによらない場合において使用できなかったとき。	使用料の全額
イ 使用者が使用日の前7日以前に使用許可の取消しを申請し、許可されたとき。	既納の使用料から取消料(使用料から消費税及び地方消費税に相当する額を除いた額の100分の50に相当する額。ただし、10円未満の端数が生じた場合は、これを四捨五入した額とする。)を差し引いた額

- 2 使用者が第7条の規定により博物館の使用の変更を許可された場合において、既納の使用料に過納金が生じたときは、これを還付するものとする。
 - 3 前2項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、四日市市立博物館使用料還付申請書(第6号様式)に第1項表アの場合にあっては許可書と使用料領収書、同項表イ及び前項の場合にあっては変更(取消)許可書と使用料領収書を添えて委員会に申請しなければならない。
 - 4 委員会は、前項の申請を受理し、還付を決定したときは、四日市市立博物館使用料還付決定通知書(第7号様式)を申請者に交付するものとする。
- 一部改正〔平成17年教委規則31号〕

(使用者の遵守事項)

- 第13条 博物館に入館する者、使用者及び条例第6条第1項の規定により許可を受けた者(以下「使用者等」という。)は、条例及びこの規則に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。
- (1) 使用を許可されていない施設を使用し、又は立ち入らないこと。
 - (2) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用しないこと。
 - (3) 許可を受けないで張り紙をし、又はくぎ類を打ち、建物その他の物品をき損又は汚損するおそれのある行為をしないこと。
 - (4) 騒音を発し、暴力を用いるなど他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
 - (5) その他委員会が定める事項及び係員の指示に従うこと。

(職務上の立入り)

- 第14条 使用者等は、係員の職務上の立入りを拒んではならない。

(施設等の損傷の届出)

- 第15条 使用者等は、施設、附属設備等を損傷又は滅失したときは、直ちに理由を付して委員会に届け出なければならない。

(使用後の届出及び点検)

- 第16条 使用者等は、条例第13条の規定により施設、設備等を原状に復したときは、速やかに委員会に届け出るとともに、その点検を受けなければならない。

(特別利用の許可の申請)

- 第17条 条例第6条第1項の規定に基づき、特別利用の許可を受けようとするものは、四日市市立博物館資料特別利用許

可(減免)申請書(第8号様式)を委員会に提出しなければならない。

- 2 委員会は特別利用の許可をしたときは、四日市市立博物館資料特別利用許可書(第9号様式)を交付するものとする。
- 3 四日市市立博物館資料特別利用許可書の交付を受けたものは、直ちに条例第6条第2項に基づく手数料を納付しなければならない。
- 4 前項に定める手数料の額は、別表第2に定める額とする。
一部改正〔平成17年教委規則31号〕

(手数料の減免)

第18条 条例第8条の規定に基づく手数料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 市、県又は国若しくは他の地方公共団体が行う教育、学術若しくは文化の事業又はこれらの事業の普及の用途に供することを目的とするとき。10割
 - (2) 私立の博物館、図書館、学校等が行う教育又は研究の用途に供することを目的とするとき。10割
 - (3) 主に学術研究の用途に供することを目的とするとき。
10割
 - (4) その他委員会が特別の事由があると認めたとき。その都度委員会が定める割合
- 2 前項の場合において、減額後の額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。
- 3 第1項に定める手数料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館資料特別利用(減免)申請書(第8号様式)に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。
一部改正〔平成17年教委規則31号〕

(特別利用の制限)

- 第19条 次の各号のいずれかに該当するときは、特別利用の許可をしない。
- (1) 特別利用によって博物館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めたとき。
 - (2) 現に博物館資料が展示されているとき。
 - (3) 寄託された博物館資料で寄託者の同意を得ていないとき。
 - (4) 著作権がある博物館資料で作者の承諾を得ていないとき。
 - (5) その他委員会が特別利用をすることが不適当と認めたとき。

(館外貸出しの許可等)

- 第20条 条例第6条の2ただし書きの規定により、博物館資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ四日市市立博物館資料館外貸出許可申請書(第10号様式)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。
- 2 委員会は、博物館資料の館外貸出しを認めた場合は、四日市市立博物館資料館外貸出許可書(第11号様式)を交付するものとする。
 - 3 博物館資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、この限りでない。

(協議会の委員長及び副委員長)

- 第21条 条例第15条に規定する四日市市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に、委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によって選出する。
- 2 委員長及び副委員長の任期は、委員としての在任期間とする。
 - 3 委員長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。

- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

- 第22条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、定例会及び臨時会とし、定例会は、年2回、臨時会は必要に応じて開催する。
- 2 会議は、委員長が召集し、委員長がその議長となる。
 - 3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。
 - 4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第23条 協議会の庶務は博物館において処理する。

(補則)

- 第24条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、委員会が別に定める。
一部改正〔平成17年教委規則31号〕

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第2条から第20条までの規定は、条例附則ただし書きに規定する規則で定める日から、次項の規定は、平成5年9月1日から施行する。
(四日市市立郷土資料庫条例施行規則の廃止)
- 2 四日市市立郷土資料庫条例施行規則(昭和45年四日市市教育委員会規則第5号)は、廃止する。

附 則(平成9年3月28日教委規則第9号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月11日教委規則第4号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月27日教委規則第7号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年12月27日教委規則第11号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年2月3日教委規則第31号)

(施行期日)

- 1 この規則は、平成17年2月7日から施行する。ただし、四日市市立博物館条例施行規則第2条の改正は、平成17年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 改正後の四日市市立博物館条例施行規則第8条、第12条、第17条、第18条、別表第1及び別表第2の規定は、平成17年4月1日以後の使用又は利用許可申請に係るものから適用する。

附 則(平成26年1月14日教委規則第5号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 改正後の四日市市立博物館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日以後に行う四日市市立博物館の使用許可に係る使用料及び手数料から適用し、同日前に行う四日市

市立博物館の使用許可に係る使用料及び手数料については、
なお従前の例による。

附 則(平成 27 年 1 月 14 日教委規則第 2 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 3 月 21 日から施行する。

(経過措置)

2 この規則による改正後の四日市市立博物館条例施行規則の規定は、この規則の施行の日以降に申請を受理するものから適用し、同日前までに改正前の四日市市立博物館条例施行規則の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、改正後の四日市市立博物館条例施行規則の相当規定によりなされたものとみなす。

別表第 1(第 8 条関係)

区分	使用料(一回一式)
プロジェクター	1,100 円

一部改正〔平成 17 年教委規則 31 号・26 年 5 号・27 年 2 号〕

別表第 2(第 17 条関係)

区分	手数料(一点一日)
熟覧	330 円
模写	1,100 円
拓本	1,100 円
撮影	1,100 円

一部改正〔平成 17 年教委規則 31 号・26 年 5 号〕

Ⅲ 施設概要

所在地 〒510-0075
三重県四日市市安島一丁目3番16号
電話 059-355-2700 (代)
FAX 059-355-2704

開館年月日 平成5年11月1日
丹羽文雄記念室オープン 平成18年12月9日
リニューアルオープン 平成27年3月21日

施設規模 敷地面積 1,845.840 m²
建設面積 1,590.397 m²
延床面積 10,147.108 m²
建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下2階地上6階
建物の高さ 38.075m
建物イメージ
歴史（石を用いた古典的な様式）
現代（石、土ものの自然素材と金属、
ガラスなどの組み合わせによる
新旧共存）
未来（金属板の仕上げ
＝プラネタリウム）
地域・商区
商業地域・防火地域
建ぺい率100%（耐火）、容積率600%

主な室名と面積（リニューアル後）

●展示・教育部門		2,202.065 m ²
常設展示室	2階	658.364 m ²
〃	3階	548.291 m ²
特別展示室	4階	594.798 m ²
ラウンジ	4階	93.674 m ²
図書スペース	1階	86.350 m ²
講座室	1階	142.218 m ²
研修・実習室	1階	78.370 m ²
●収蔵部門		1,256.230 m ²
第1収蔵庫	地下2階	243.290 m ²
〃 前室	地下2階	38.880 m ²
第2収蔵庫（恒温恒湿）	地下1階	282.170 m ²
第3収蔵庫	地下1階	384.496 m ²
〃 前室	地下1階	76.086 m ²
荷解室	1階	231.308 m ²
●研究部門		420.165 m ²
作業室	2階	50.422 m ²
資料整理室	地下1階	84.370 m ²
文献資料室	3階	37.952 m ²
資料評価室	4階	33.300 m ²
燻蒸室	地下1階	43.070 m ²
スタジオ暗室	地下1階	87.510 m ²
ビデオ編集室	地下1階	16.882 m ²
第2会議室	4階	37.952 m ²
第3会議室	3階	28.707 m ²
●プラネタリウム部門		1,714.282 m ²
客席（ドーム）	5・6階	565.017 m ²
コズミックラウンジ	5階	59.081 m ²
コズミックギャラリー	5階	194.763 m ²

ブリーフィングルーム 5階 59.326 m²
空調機械室 5・6階 836.095 m²

●管理・一般部門		4,554.366 m ²
事務室	3階	105.059 m ²
事務室	2階	60.464 m ²
第1会議室	2階	37.001 m ²
ミュージアムショップ	1階	28.723 m ²
警備室	1階	20.812 m ²
中央監視室	地下2階	44.064 m ²
設備機械室	地下2階	486.190 m ²
電気室、発電機室	地下2階	240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,531.901 m ²

●プラネタリウム仕様
ドーム径18.5m 傾斜型（斜度20度）
座席144席（遮音室8席）
光学式投映機 ケイロン4〇1
デジタル式投映システム バーチャリウムⅡ R7
全天周映画 可能

主な施工業者

【開館】

建築 (株)鴻池組 三菱建設(株) 丸藤建設(株)
電気 (株)電工社 四日市電機(株)
設備機械 須賀工業(株) ダイダシ(株) 三東工業所
プラネタリウム (株)五藤光学研究所
建築設計 (株)石本建築事務所
展示設計 (有)ササキ企画
展示 商工美術(株)
展示映像 中部松下システム(株)
ハイビジョン 中部松下システム(株)
陶壁 萬古環境造形体

【リニューアル】

プラネタリウム (株)五藤光学研究所
展示設計
展示 丹青社

設備概要

●空調設備

1. 空調熱源機器設備

①スクリーン冷凍機

（冷房能力330,000Kcal/h[97URST]

暖房能力280,000Kcal/h)

2基

②スクリーン冷凍機用空気熱交換機

2基

送風機（低騒音型3,400 m³/min)

3台

③蓄熱槽

2. 空調、換気及び排煙機器設備

①空調機

エアーハンドリングユニット

9基

パッケージ型空調機

30基

ファンコイルユニット

19基

②送、排風機

シロッコファン

8基

軸流ファン

12基

ラインファン

28基

消音ボックス付ラインファン

20基

デリバントファン

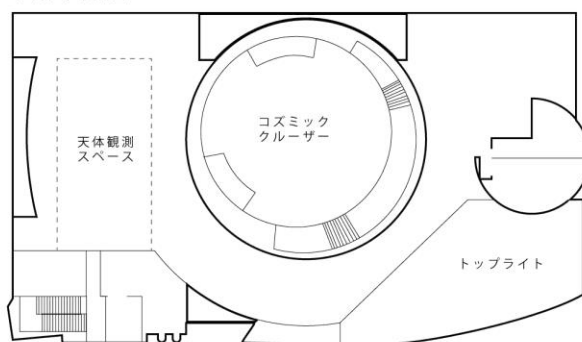
1基

排煙ファン	3 基	ITV ラック (モニタ共)	2 組
排煙口	25 基	操作卓	2 組
3. その他機器		監視用 PC	2 台
①フィルターユニット		③防火扉	47 箇所
外気新鮮空気処理ユニット	3 基	④防火・防災シャッター	32 箇所
②消音マフラーユニット	9 基	⑤排煙口	28 箇所
③その他付属設備	一式	●電気設備	
4. 空調配管設備		①受電電圧 交流 3 相 3 線式 660V 60Hz	
①空調用ポンプ	14 基	②変圧器	
②冷温水 2 次ポンプ可変速制御盤	1 基	動力用	
③冷水ヘッダー	2 基	3 相 6.6KV/210V 300KVA	1 台
④温水ヘッダー	2 基	3 相 6.6KV/210V 500KVA	1 台
⑤冷温水用防蝕装置	4 基	3 相 6.6KV/210V 150KVA	2 台
⑥その他付属設備	一式	3 相 6.6KV/440V 500KVA	1 台
●給排水衛生設備		電灯用	
1. 給水設備		1 相 6.6KV/210V/105V 300KVA	2 台
①ポンプ 揚水ポンプ	2 基	1 相 6.6KV/210V/105V 100KVA	1 台
②受水槽 有効容量 12.7 m ³ (2 分割-複合盤)	1 基	③自家発電機	
③高架水槽 有効容量 6.3 m ³ (2 分割-SUS444) 保温	1 基	6 気筒 4 サイクルディーゼル機関	
④電機湯沸器 貯湯量 10 t _ℓ	3 基	480Ps 1200rpm	1 台
⑤ウォータークーラー		3 相交流同期発電機 400KVA 6600V	1 台
壁埋込式、ステンレス製	2 基	④電線路電圧 6600V 440V 210V 105V	
冷水能力 301 t _ℓ /h		⑤電気室 高低圧配電盤	19 面
⑥その他付属設備	一式	動力制御盤	15 面
2. 排水設備		電灯分電盤	21 面
公共下水道接続箇所		端子盤	12 面
①湧水排水ポンプ	6 基	⑥低圧回路	
②雑水排水ポンプ	2 基	⑦低圧負荷設備	
③雨水排水ポンプ	2 基	電動機合計容量 1, 123.023KW	130 台
●燻蒸設備 (真空殺虫殺菌装置)	3.15 m ²	電灯コンセント合計容量 476KVA	2, 115 個
●消防設備		⑧直流電源装置	
①屋内消火栓ポンプ	1 基	100V 非常照明用 発電設備機器操作用	
②屋内消火栓設備		全自動サイリスター式整流器	
屋内消火栓箱	12 基	(入力 交流 3 相 200V 60Hz	
屋内消火栓箱 (併設型)	4 基	直流出力電流 50A 3 相全波整流)	1 面
③連結散水設備 閉鎖型 (8 系統)	一式	蓄電池 ペースト式高率放電用鉛蓄電池	
④ハロン消火設備 7 系統		2V×54 セル	
(特別展示室、第 1・2・3 収蔵庫、 前室、電気室、発電機室)	一式	⑨交流無停電電源装置	
⑤救助袋 3-5 階	6 台	100V 中央監視装置用	
⑥自動火災報知設備		商用同期常時インバーター給電方式	
差動スポット感知器	6 個	(交流入出力 単相 2 線式 100V 60Hz	
定温スポット感知器	14 個	出力容量 5KVA)	
煙感知器	384 個	⑩電気時計 水晶発信式 6 回路	
炎感知器	4 個	親時計 1 台 子時計 41 台	
⑦非常放送設備	一式	⑪放送設備 防災アンプ 480W	20 回路
⑧消火器	38 本	⑫電話設備 デジタル電子交換機	一式
⑨誘導灯設備 避難口誘導灯	54 台	多機能電話機	15 台
通路誘導灯	39 台	一般電話機	37 台
客席誘導灯	22 台	⑬テレビ共聴設備 CATV 引込 (CTY)	
⑩その他付属設備		⑭中央監視設備	
●防犯設備		SAVIC-NETFX による監視システム	
①防犯設備 熱感センサー	46 個	●エレベータ	
②監視カメラ (屋内用)	78 台	1.2 号 乗用 (展望用) 定員 17 名 1150Kg 90m/分	
(屋外用)	5 台	3 号 乗用 定員 11 名 750Kg 105m/分	
(可動式)	1 台	4 号 人荷用 定員 67 名 4400Kg 30m/分	
モニタ (43 型)	3 台	5 号 乗用 定員 11 名 750Kg 30m/分	
		●その他設備 昇降リフト (2 トン、荷解室)	1 台
		ゴンドラ (ガラス清掃用)	2 台
		自動扉	4 箇所

3階平面図



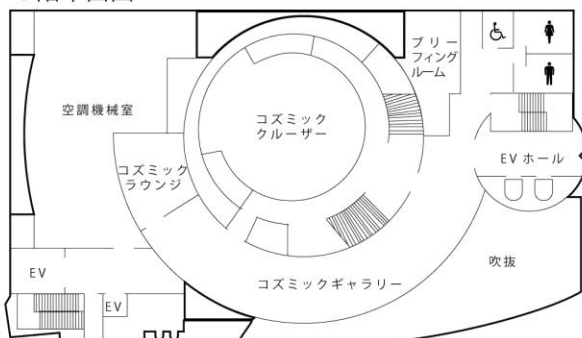
6階平面図



2階平面図



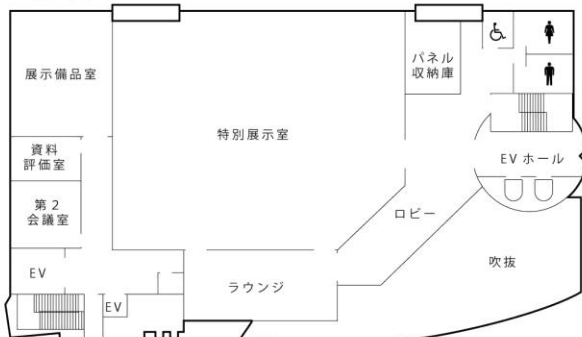
5階平面図



1階平面図



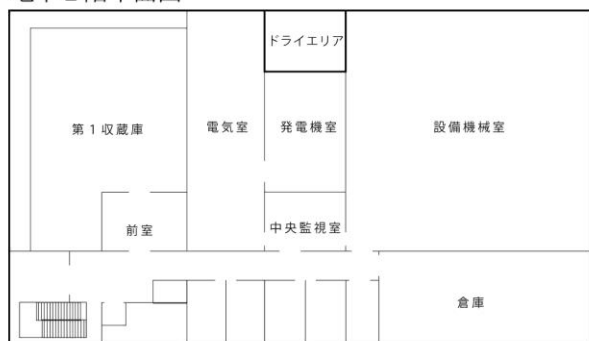
4階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



●設計概要

敷地は、旧四日市工業高等学校跡地の一角で、街区内には、都市公園を介して三重北勢地域地場産業振興センター(現四日市市地場産業振興センター)、アムスクエア(現トナリエ四日市)などがあり、それらとの調和を図る必要があった。そこで、形態的には都市公園を介してオープンなアトリウムで呼応しあう関係を生み出し、色調的にはアムスクエアのグレイッシュピンクと補色関係にあり、色の映える淡緑青色を基調としている。

外観デザインとしては、博物館とプラネタリウムという複合した機能を持つ建物の性格上、「過去」(歴史)、「現在」、「未来」(宇宙)の調和をテーマとしている。そのことは、基壇部において花崗岩のジェットバーナー仕上げで歴史の積層をイメージし、胴部において割肌タイルにより工業化が進んだ現代だからこそ逆に求められる手造りのなあたかさ、やさしさを表現し、頂部においてステンレスの球体を一部露出させ、未来的、宇宙的なイメージを喚起して、それらの三層構成による対比と調和を図っている。また、都市公園に面する東側はボリュームの大きさからくる威圧感を低減するために、面を分節化し、水平線を強調したガラスのカーテンウォール、地上の緑が階段状に延長した濃緑色の石貼部、太陽光線をイメージした黄色の垂直線、コンビナートのメタファーとしての金属のパイプや球体により、リズムミカルで変化のある構成としている。

内部機能構成としては、地下部分に収蔵部門、1階にエントランス、2～4階に博物館部門(現在は2階に四日市公害と環境未来館)、5、6階にプラネタリウム部門を収め、地上部分に5層吹抜のアトリウムを設けることにより積層化した施設の空間的な一体感を生み出す計画としている。また、都市公園に対してオープンな構成とし、それを借景として利用することで空間的な広がりを持たせている。

(石本建築事務所)

Ⅳ 利用案内

●博物館を彩る施設

□エントランスホール(1階)

入口を入ると5階まで吹き抜けているアトリウムとシースルーエレベータが目进行く。ここは誰でも入れる自由空間。
待ち合わせに最適な場所である。

□図書スペース(1階)

四日市公害と環境未来館の併設に伴い設置されたスペースで、環境に関連する図書の閲覧・貸出が可能なスペース。

□ミュージアムショップ(1階)

来館の思い出となる記念品や、市・博物館・四日市公害と環境未来館が刊行する図録等の書籍を販売。鉱物や化石、星座グッズなども取りそろえている。

□陶壁(2階ロビー)

四日市市の歴史、美術資料の展示効果と現代建築における陶の材質美との調和を図るため、通路を歩く人の動きとともに画面が変化する一種のだまし絵的効果を意図した。(高さ 2.5m 幅 5.0m)

A面:歌川広重作 東海道五十三次「四日市の図」

B面:歌川国貞作 末広五十三次「蜃気楼の図」

これらを四日市萬古焼の伝統技法により焼成。

制作:萬古環境造形体



I 事業概要

1 これまでの経緯

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋の要職にあった岡田家の屋敷である。

岡田家に残る文政12年(1829年)の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推察されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の垂旗に宝暦10年(1760年)の銘があることから、少なくとも江戸時代中期に現在の主屋と土蔵が建築され、250年ほど経過しているとみられている。また、隣接する立会所は、岡田家所蔵の古文書によると、明治3年(1870年)に役所施設(公共建築)として邸内に建設されたと考えられている。

平成14年3月に旧庄屋岡田邸は、岡田氏から土地と建物を当時の楠町へ寄贈いただいた。さらに、令和3年12月に岡田淑子氏より第2駐車場土地を寄贈いただいた。

北勢地域における、近世の民家として歴史的価値が高い建造物であることから、平成14年6月に主屋部分を、続いて同年12月に立会所・蔵部分をそれぞれ楠町有形文化財(建造物)に指定した。旧楠町においては、この歴史的建造物の維持と管理について、旧楠町文化財調査委員会をはじめ、各方面のご指導ご協力を仰ぎながら協議を重ね、楠町議会のご理解を得て、歴史民俗資料館として活用する方針を決定するに至った。



平成16年度には、国庫補助事業である発電用施設周辺地域振興事業と県補助事業である下水道周辺環境整備事業の事業補助認定を受けて修復工事を実施した。工事概要は、楠町有形文化財である主屋、立会所及び蔵の修復と、年貢米の貯蔵庫としていた米蔵の跡地に展示収蔵庫兼管理棟の新築を行い、併せて、老朽化により修復不可能な養蚕所、女子部屋及び下屋については解体し、平成17年3月末に完成した。

この間、平成17年2月7日には、四日市市と楠町が合併した。それに伴い旧楠町の町有形文化財(建築物)である主屋、立会所及び蔵は、四日市市有形文化財(建造物)に指定され、平成17年4月29日に「四日市市楠歴史民

俗資料館」として開館した。平成21年度から指定管理者制度を導入し、財団法人四日市市まちづくり振興事業団(現公益財団法人四日市市文化まちづくり財団)が指定管理者となって管理運営を行ったが、平成24年度からは博物館が管理運営を行っている。

この資料館は、楠地域の歴史及び文化の保存並びに地域文化の振興を図ることを目的としており、収蔵品は令和8年3月末現在5,192点を数え、旧庄屋岡田邸・蔵内に約500点、展示棟内の常設展示室に約100点を展示している。



2 事業

(1) 夏の夜間特別開館 2025&ホタル観賞会

楠歴史民俗資料館が毎年行っている夜間開館。通常 17 時で閉館するところを、四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会の協力のもと、20 時まで特別に開館し、また、地元団体と連携して、ワークショップ等のイベントを開催し、地元のホタル観賞会とも連携し開催した。

■ 日 時:5 月 31 日(土)

■ 来館者:593 人

(2) 秋の夜間特別開館 2025

楠歴史民俗資料館が毎年行っている夜間開館。通常 17 時で閉館するところを、四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会の協力のもと 19 時 30 分まで特別に開館し、ワークショップや行灯祭りなどを開催した。

■ 日 時:9 月 27 日(土)

■ 来館者:183 人

(3) 四日市市楠歴史民俗資料館セミナー「しめ縄づくり」

外部講師指導のもと、正月飾りとしてしめ縄を制作。四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会との共催で開催した。

■ 日 時:12 月 7 日(日)

■ 参加者:12 人

(4) 企画展「新春を彩る創作 古布細工と雛飾り展」

グループ「華楽」の協力により、手作りの雛飾りなど、ひなまつりにちなんだ手芸作品を展示した。四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会との共催で開催した。

■ 期 間:令和 8 年 2 月 6 日(金)~3 月 5 日(木)

■ 来館者:663 人

(5) おひなまつりコンサート

おひなまつりにちなみ四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会と共催で、アンサンブル「ムジクス」によるコンサートを開催した。

■ 日 時:令和 8 年 2 月 22 日(日)

■ 参加者:60 人

(6) 収蔵品展

過去に収集した資料の整理を、四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会の協力のもと実施し、整理が終了した資料の一部の展示を資料館内の展示棟にて開催した。

第 6 回ミニ展覧会「見つかるか? ホンゴウソウ」

令和 5 年 6 月 13 日(火)~

3 施設の利用

(1) 立会所

資料館の施設利用については、四日市市楠歴史民俗資料館条例第 8 条により、立会所のざしき(西)・ざしき(東)・小ざしき及び水屋を、資料館の設置目的に反せず、資料館の公開に支障のない範囲において、公開使用を許可している(有料)。

※令和 7 年度は申し込みなしのため実績なし。

(2) 企画展示コーナー

資料館の賑わい創出のため、展示棟内の展示スペースを企画展示コーナーとして希望者に提供して

いる(無料)。令和7年度実績は以下のとおりである。

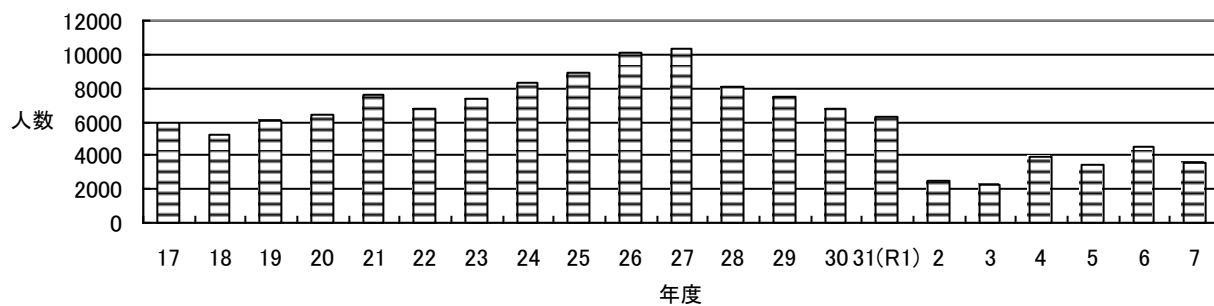
期間	内容	主催者
4月1日(火)～15日(火)	俳画・己書展	四日市市熟年大学 29 期会「ふくの会」
5月1日(木)～31日(土)	ガラスアートと切り絵展	個人
6月17日(火)～29日(日)	楽しい水彩画展	泗水彩の会
8月2日(土)～11日(月・祝)	筆遊び作品展	四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会
8月16日(土)～9月15日(月・祝)	堀友則が本郷地区歴史散策をしてそうぞうした世界展	個人
9月17日(水)～30日(火)	花のパッチワーク展	個人
10月1日(水)～15日(水)	花みかんの会 絵手紙展	花みかんの会
10月16日(木)～31日(金)	介護を終えて傘寿の楽しみ展	個人
11月5日(水)～12月23日(火)	写真パネル展	四日市市楠歴史民俗資料館保存運営委員会
令和8年1月6日(火)～15日(木)	筆文字アート展	個人
2月1日(水)～28日(土)	水墨画 五人展	水墨画 五人展
3月1日(日)～15日(日)	素墨展(水墨画) 1	藤墨会
3月17日(火)～29日(日)	書友会展(暮らしの中の書)	書友会

4 利用状況

(1) 観覧者数(4月1日～令和8年3月31日)

月	4	5	6	7	8	9
開館日数	26	27	25	27	27	25
人数	158	871	97	116	178	357
月	10	11	12	1	2	3
開館日数	27	26	24	24	24	26
人数	292	198	119	227	611	376
合計開館日数	307			合計人数	3,600	

(2) 観覧者数推移



年度(平成)	17	18	19	20	21	22	23	24
観覧者数	5,955	5,230	6,110	6,397	7,634	6,829	7,321	8,258
累計	5,955	11,185	17,295	23,692	31,326	38,155	45,476	53,734
年度(平成)	25	26	27	28	29	30	31(元)	2
観覧者数	8,927	10,157	10,365	8,102	7,536	6,731	6,325	2,509
累計	62,661	72,818	83,183	91,285	98,821	105,552	111,877	114,386
年度(平成)	3	4	5	6	7			
観覧者数	2,231	3,956	3,391	4,508	3,600			
累計	116,617	120,573	123,964	128,472	132,072			

5 関係法規

四日市市楠歴史民俗資料館条例

平成 17 年 3 月 28 日条例第 13 号改正

平成 20 年 6 月 27 日条例第 23 号

平成 22 年 3 月 25 日条例第 7 号

平成 25 年 12 月 27 日条例第 67 号

平成 31 年 3 月 35 日条例第 3 号

令和 3 年 12 月 23 日条例第 39 号

令和 5 年 3 月 30 日条例第 13 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条の 2 の規定に基づき、四日市市楠歴史民俗資料館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(一部改正〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(設置)

第 2 条 本市は、楠地域の歴史及び文化の保存並びに地域文化の振興を図るため、四日市市楠町本郷 1068 番地に四日市市楠歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)を設置する。

(定義)

第 3 条 この条例において「公開使用」とは、資料館の一部について、入場者の排除を行わずに、第 2 条に掲げる目的に沿った文化活動を行うために使用することをいう。

(追加〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(事業)

第 4 条 資料館は、第 2 条の設置目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 楠地域の歴史等に関する実物、模型、複製、文献、写真等の資料(以下「資料館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及び利用に供すること。
- (2) 資料館資料についての説明、助言に関すること。
- (3) 他の資料館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (4) 第 2 条に掲げる目的に沿った文化活動のための施設の提供に関すること。
- (5) その他必要な事業

(一部改正〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(管理)

第 5 条 資料館の管理は、法第 244 条の 2 第 3 項の規定により、法人その他の団体であって市が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせることができる。

(追加〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(指定管理者の業務の範囲)

第 6 条 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第 8 条に規定する公開使用の許可、第 11 条に規定する特別利用の許可、第 12 条に規定する資料館資料貸出しの許可、第 13 条に規定する許可の取消し、第 14 条に規定する入館の制限、第 16 条に規定する特別の設備の設置許可その他資料館の使用許可に関する業務
- (2) 第 9 条に規定する利用料金の徴収、第 10 条に規定する利用料金の還付その他利用料金に関する業務
- (3) 資料館資料、施設、附属設備等(以下「施設等」と

いう。)の維持管理に関する業務

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、資料館の運営に関して市長が必要と認めた業務

(追加〔平成 20 年条例第 23 号〕、一部改正〔平成 22 年条例第 7 号・令和 3 年 39 号〕)

(観覧料)

第 7 条 資料館の観覧料は、無料とする。

(一部改正〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(公開使用の許可)

第 8 条 資料館の一部を公開使用しようとする者は、あらかじめ指定管理者に申請し、その許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可を行わないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設等を損傷又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) その他施設等の管理上支障があるとき。

3 指定管理者は、第 1 項の許可に際して、必要な条件を付けることができる。

(追加〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(利用料金)

第 9 条 資料館の公開使用について許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、当該許可と同時に利用料金を前納しなければならない。ただし、別に定める基準に従い、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、使用後に納付することができる。

2 前項に定める利用料金の額は、別表第 1 に定める額の範囲内において指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める額とする。

3 利用料金は、法第 244 条の 2 第 8 項の規定に基づき、指定管理者の収入として収受させるものとする。

(追加〔平成 20 年条例第 23 号〕、一部改正〔平成 22 年条例第 7 号・令和 3 年 39 号〕)

(利用料金の還付)

第 10 条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、別に規則で定める基準に従い、その全部又は一部を還付することができる。

(追加〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(特別利用の許可)

第 11 条 資料館資料について、学術研究のための熟覧、模写、模造、撮影等をしようとする者(以下「利用者」という。)は、あらかじめ指定管理者に申請し、その許可を受けなければならない。

2 第 8 条第 2 項及び 3 項の規定は、前項の許可について準用する。

(一部改正〔平成 20 年条例第 23 号〕)

(資料館資料の貸出し)

第 12 条 資料館資料は、貸し出すことができない。ただし、指定管理者は、当該資料館資料が学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱い上の安全性が確保されると認められるときは、資料館の運営に支障を来たさない範囲において、次の各号に掲げるものに対して、

貸出しを許可することができる。

(1) 博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条に規定する博物館に相当する施設

(2) 国及び地方公共団体

(3) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校若しくは同法第134条第1項に規定する各種学校又はこれに類するものとして市長が認めた施設

(4) その他市長が適当と認めたもの

2 第8条第2項及び3項の規定は、前項の許可について準用する。

3 第1項の許可を受けたもの(以下「借入者」という。)は、当該貸出しに伴う一切の費用を負担しなければならない。

4 第1項の貸出期間は、30日以内とする。ただし、指定管理者が特に必要と認めたときは、1年以内とすることができる。

(追加〔平成20年条例23号〕、一部改正〔平成22年条例7号・令和3年39号〕)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、使用者、利用者又は借入者(以下「使用者等」という。)が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、許可の条件を変更し、若しくは使用、利用若しくは貸出し(以下「使用等」という。)を停止し、又は許可を取り消すことができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(2) 許可の条件に違反したとき。

(原状回復の義務)

第17条 使用者等は、使用等を終了したとき又は第13条の規定により使用等を停止され、若しくは許可を取り消されたときは、直ちに施設等を原状に回復しなければならない。

2 使用者等が前項の義務を履行しないときは、市長においてこれを執行し、使用者等がその費用を負担しなければならない。

(一部改正〔平成20年条例23号〕)

(損害賠償)

第18条 使用者等が使用等の際に施設等を損傷又は滅失したとき又は入場者が観覧の際に施設等を損傷又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別な理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(一部改正〔平成20年条例23号〕)

第19条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(一部改正〔平成20年条例23号・22年7号・令和3年39号〕)

附 則

この条例は、平成17年4月29日から施行する。

附 則(平成20年6月27日条例第23号)

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月25日条例第7号)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に改正前の四日市市楠歴史民

(3) 第8条第2項各号(第11条及び前条において準用する場合を含む。)のいずれかに該当するに至ったとき。

(4) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。

(5) その他施設等の管理上特に必要があるとき。

2 前項の規定により、使用者等に損害が生じて、市及び指定管理者はその賠償の責めを負わない。

(追加〔平成20年条例23号〕)

(入館等の制限)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、資料館への入館を拒否し、又は退館を命じることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認めた者

(2) 施設等を損傷するおそれがあると認めた者

(3) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれがあると認めた者

(4) その他資料館の管理運営上支障があると認めた者

(一部改正〔平成20年条例23号〕)

(権利の譲渡等の禁止)

第15条 使用者等は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(一部改正〔平成20年条例23号〕)

(特別の設備等)

第16条 使用者等は、既存の設備を変更し、又は特別の設備を設置しようとするときは、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

(一部改正〔平成20年条例23号〕)

俗資料館条例の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、改正後の四日市市楠歴史民俗資料館条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成25年12月27日条例第67号)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の四日市市楠歴史民俗資料館条例別表第1の規定は、この条例の施行の日以後に行う四日市市楠歴史民俗資料館の使用許可に係る利用料金の上限額から適用し、同日前に行う四日市市楠歴史民俗資料館の使用許可に係る利用料金の上限額については、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月25日条例第3号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(四日市市楠歴史民俗資料館条例の一部改正に伴う経過措置)

39 第34条の規定による改正後の四日市市楠歴史民俗資料館条例別表第1の規定は、この条例の施行の日以後に行う四日市市楠歴史民俗資料館の使用許可に係る利用料金の上限額から適用し、同日前に行う四日市市楠歴史民俗資料館の使用許可に係る利用料金の上限額については、なお従前の例による。

附 則(令和3年12月23日条例第39号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

別表第 1（第 9 条関係）

（追加〔平成 20 年条例 23 号〕、一部改正〔平成 25 年条例 67 号・31 年 3 号〕）

区分		利用料金の上限額(円)	
		午前	午後
		午前 8 時 30 分 から正午まで	午後 1 時から 午後 5 時まで
立 会 所	ざしき(西)	660	660
	ざしき(東)	660	660
	小ざしき及び水屋	660	660
	全室利用	1,980	1,980

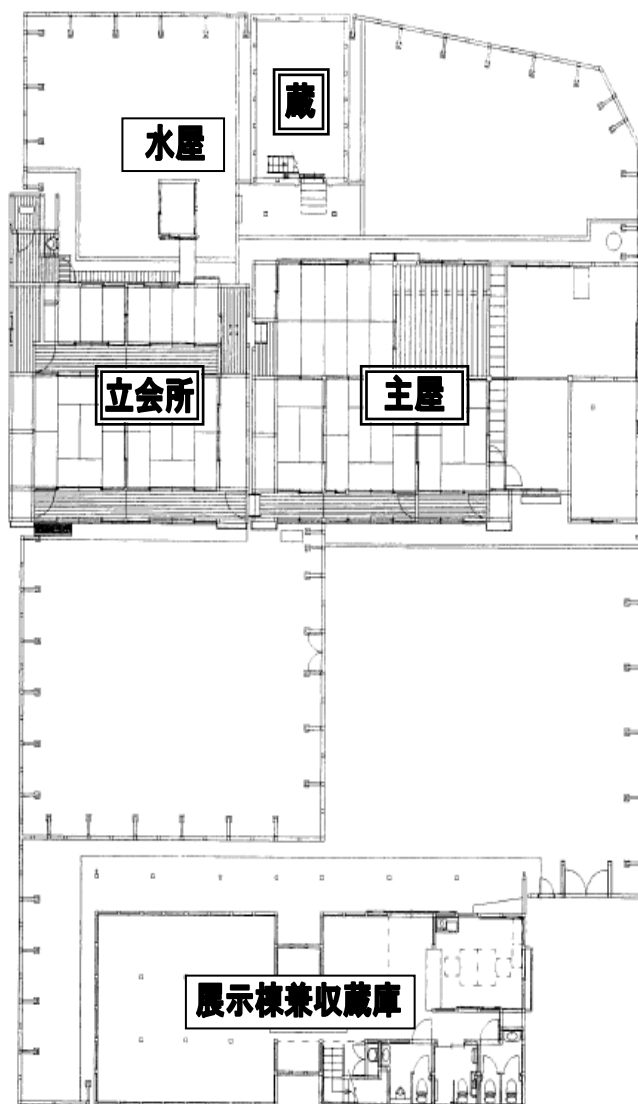
Ⅱ 施設概要

所在地 〒510-0106
三重県四日市市楠町本郷 1068 番地
電 話 059-398-3636
F A X 059-398-3637

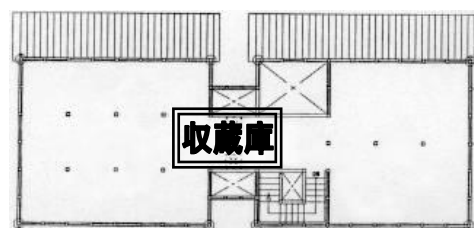
施設規模	敷地面積	1,358.15 m ²
	建築面積	338.09 m ²
	延床面積	448.24 m ²
	建物構造	
	主屋・立会所（四日市市指定有形文化財）	
	木造瓦葺平屋	209.75 m ²
	蔵（四日市市指定有形文化財）	
	木造棧瓦葺平屋	39.08 m ²
	水屋	
	木造瓦葺平屋	2.76 m ²
	展示棟兼収蔵庫	
	木造瓦葺 2 階建	196.65 m ²

付属設備等 放送設備 冷暖房装置 会議用机・椅子
A V コーナー 駐車場 11 台

1 階平面図



2 階平面図



令和 7 年度四日市市立博物館年報 第 33 号

令和 8 年 7 月 25 日発行
編集・発行 四日市市立博物館
〒510-0075 四日市市安島一丁目 3 番 16 号
TEL 059-355-2700 (代) / FAX 059-355-2704
<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/>